平成２７年度

全国学力・学習状況調査

― 結果の概要 ―

平成２７年１０月
石川県教育委員会

目　　　次

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的 …… １
２　調査の対象 …… １
３　調査の内容 …… １
（１）教科に関する調査
（２）質問紙調査
４　調査の方式 …… １
５　調査日 …… １
６　調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数 …… １
［本書における留意事項］…… ２

Ⅱ　調査の結果

１　教科に関する調査の結果 …… ３
（１）各教科の状況 …… ４
《小学校第６学年　国語》
《小学校第６学年　算数》
《小学校第６学年　理科》
《中学校第３学年　国語》
《中学校第３学年　数学》
《中学校第３学年　理科》
（２）学校の分布状況 …… ２８
（３）各教育事務所の状況 …… ３０
（４）平均正答率の全国との差の変動 …… ３４
２　質問紙調査の結果 …… ３５
（１）児童生徒質問紙調査 …… ３５
（２）学校質問紙調査 …… ４０

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

　義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図るとともに，学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに，そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査の対象

・小学校第６学年，特別支援学校小学部第６学年
・中学校第３学年，特別支援学校中学部第３学年

３　調査の内容

（１）教科に関する調査

国語Ａ 算数・数学Ａ 理科	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など（主として「知識」に関する問題）を中心とした出題
国語Ｂ 算数・数学Ｂ 理科	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容（主として「活用」に関する問題）を中心とした出題

（２）質問紙調査

児童生徒質問紙	学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査
学校質問紙	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

４　調査の方式

悉皆調査

５　調査日　　平成２７年４月２１日（火）

６　調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数（特別支援学校を含む）

区　分	小学校第６学年	中学校第３学年
学校数	２２０校	９１校
児童生徒数	１０，２７６人	１０，４２６人

[本書における留意事項]

1　語句について

語　　　　　句	説　　　　　明
平　均　正　答　数	児童生徒の正答数の平均
平　均　正　答　率	平均正答数を百分率で表示

2　到達状況の表記について

国が公表した過去の調査結果を参考にして，正答率の状況により，児童生徒の到達状況を下表のように表記した。

正　　答　　率	「到達状況」を示す記号，用語
９０％を上回っている場合	◎：良好である
８０％～９０％の場合	○：概ね良好である
７０％～８０％の場合	◇：基準に到達している
６０％～７０％の場合	▽：十分とはいえない
６０％を下回っている場合	▼：不十分である

3　調査結果の解釈等について

本調査は，幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが，実施教科が国語，算数・数学，理科の３教科のみであることや，必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。したがって，本調査の結果については，児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることや，学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査の結果においては，国語（A・B），算数・数学（A・B），理科の教科ごとの平均正答数，平均正答率等の数値を示しているが，これらと分布の状況を表すグラフの形状など，他の情報とを合わせて総合的に結果を分析・評価する必要がある。

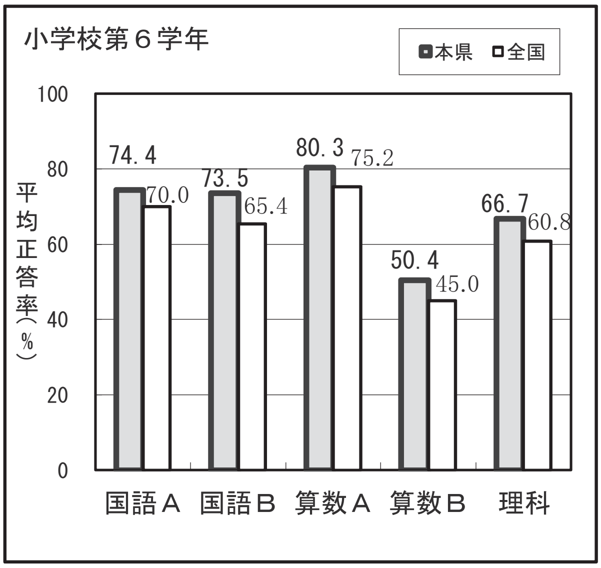
また，本調査結果の活用については，個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し，児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要である。

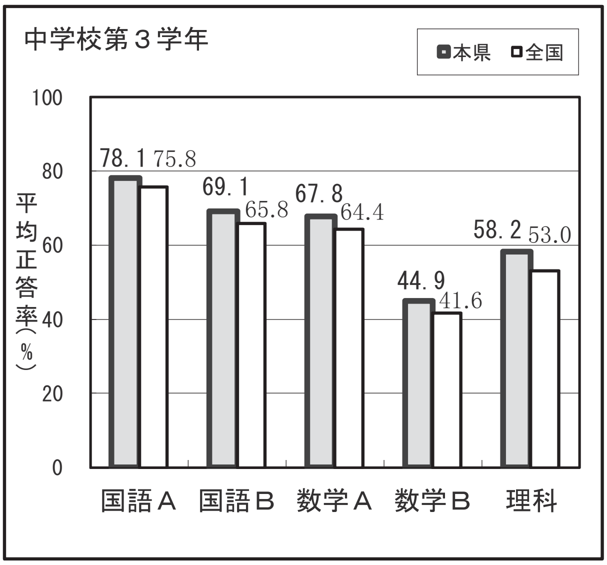
Ⅱ　調査の結果

1　教科に関する調査の結果

本県の平均正答率は，これまでの悉皆調査と同様に，小中学校の国語，算数・数学，理科ともに全国より高く，A「知識」の方がB「活用」よりも高い。

学　年	項　目	県・国	国　語		算数・数学		理　科
			A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」	「知識」「活用」
小学校第6学年	平均正答数（問）	本県	**10.4 ／ 14**	**6.6 ／ 9**	**12.8 ／ 16**	**6.5 ／ 13**	**16.0 ／ 24**
		全国	9.8 ／ 14	5.9 ／ 9	12.0 ／ 16	5.9 ／ 13	14.6 ／ 24
	平均正答率（％）	本県	**74.4**	**73.5**	**80.3**	**50.4**	**66.7**
		全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
中学校第3学年	平均正答数（問）	本県	**25.8 ／ 33**	**6.2 ／ 9**	**24.4 ／ 36**	**6.7 ／ 15**	**14.6 ／ 25**
		全国	25.0 ／ 33	5.9 ／ 9	23.2 ／ 36	6.2 ／ 15	13.3 ／ 25
	平均正答率（％）	本県	**78.1**	**69.1**	**67.8**	**44.9**	**58.2**
		全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0





《参考》

［平成26年度の結果］

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校第6学年	本県	74.1	62.7	82.5	63.6
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B
中学校第3学年	本県	81.9	53.7	70.9	63.4
	全国	79.4	51.0	67.4	59.8

［平成25年度の結果］

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校第6学年	本県	67.6	54.3	80.2	64.3
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B
中学校第3学年	本県	78.3	70.7	66.6	45.0
	全国	76.4	67.4	63.7	41.5

（1）各教科の状況

《小学校第6学年 国語》

国語A

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り，知識・技能の定着は基準に到達している。
- ☆ 具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことは概ね良好である。
- ☆ 新聞のコラムを読んで，引用などの表現の工夫を捉えることに課題がある。

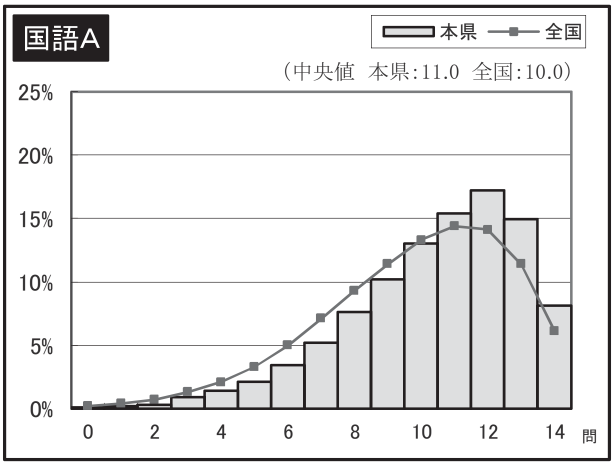
	児童数	平均正答数	平均正答率
本県	10,271 人	10.4 ／ 14 問	74.4 %
全国	1,061,264 人	9.8 ／ 14 問	70.0 %

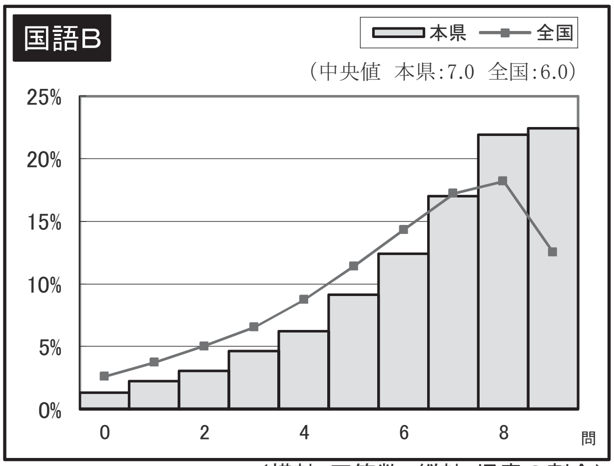
国語B

- ☆ 平均正答率は全国平均を上回り，知識・技能を活用する力は基準に到達している。
- ☆ 目的に応じ，中心となる語や文を捉えることや，文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることは概ね良好である。
- ☆ 文章と図とを関係付けて，自分の考えを書くことに課題がある。

	児童数	平均正答数	平均正答率
本県	10,269 人	6.6 ／ 9 問	73.5 %
全国	1,061,093 人	5.9 ／ 9 問	65.4 %

【正答数分布グラフ】





（横軸：正答数，縦軸：児童の割合）

【正答率の高い設問】

国語A

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	1一1	漢字を読む（友人を家に招く）	98.1	97.5
2	1一2	漢字を読む（自分の信念をつらぬく）	98.0	96.0
3	1一3	漢字を読む（全員がすぐに承知した）	93.7	92.5

国語B

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2一イ	[イ]に入る言葉として適切な内容を書き抜く	90.1	86.0
2	2二	【文章】の要旨をまとめて書く	86.3	78.4
3	2一ア	[ア]に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	79.1	75.5

【正答率の低い設問】

国語A

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	5二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く	20.8	19.8
2	3	聞き方の説明として適切なものを選択する	58.7	53.0
3	5一	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する	64.0	59.5

国語B

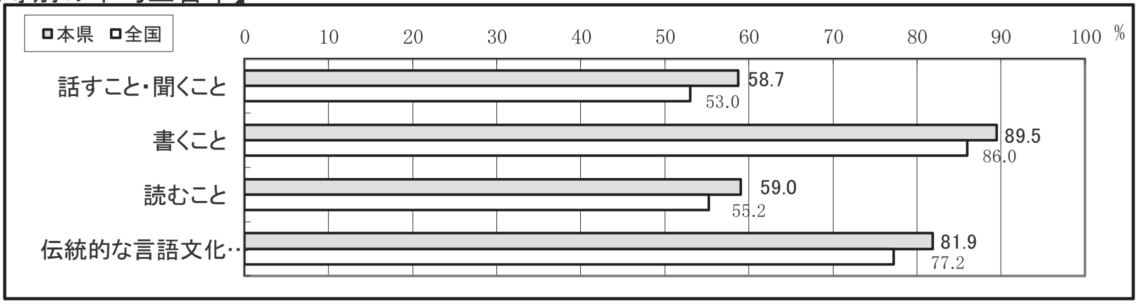
	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	50.2	34.7
2	2三	楽器の分担の決め方について，【楽器の分担図】を基にして書く	55.3	41.6
3	3一	〈絵3〉の場面が始まるまとまりとして適切なものを選択する	69.9	60.4

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

国語A

【領域等別の平均正答率】



[話すこと・聞くこと]
- ▼ : 話の内容に対する聞き方を工夫すること〔3〕

[書くこと]
- ○ : 具体的な事例を挙げて説明する文章を書くこと〔4〕

[読むこと]
- ◇ : 登場人物の相互関係を捉えること〔6〕
- ▼ : 新聞のコラムを読んで，引用などの表現の工夫を捉えること〔5〕

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]
- ◎ : 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと〔1一〕
- ◇ : 文の中の主語や，文を構成する主語と述語との照応関係を捉えること〔2〕

国語B

[書くこと]
- ◇ : 目的や意図に応じ，新聞の割り付けをしたり，記事に見出しを付けたりすること〔1一，二〕
- ▼ : 目的や意図に応じ，取材した内容を整理しながら記事を書くこと〔1三〕

[書くこと/読むこと]
- ○ : 目的に応じ，文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えること〔2二〕
- ◇ : 登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読すること〔3二〕
- ▼ : 文章と図とを関係付けて，自分の考えを書くこと〔2三〕

[読むこと]
- ○ : 目的に応じ，中心となる語や文を捉えること〔2一〕
- ▽ : 登場人物の行動を基にして，場面の移り変わりを捉えること〔3一〕

〔　〕内:設問番号

【各設問の正答率等】

国語A

□ :正答率が全国より高い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点					本県		全国	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	正答率（%）	無解答率（%）	正答率（%）	無解答率（%）
1一1	漢字を読む（友人を家に招く）				○					○	98.1	0.4	97.5	0.7
1一2	漢字を読む（自分の信念をつらぬく）				○					○	98.0	0.3	96.0	0.9
1一3	漢字を読む（全員がすぐに承知した）				○					○	93.7	1.3	92.5	2.5
1二1	漢字を書く（シャワーをあびる）				○					○	65.7	7.4	58.4	17.2
1二2	漢字を書く（鳥のすを観察する）				○					○	77.2	3.0	76.5	5.7
1二3	漢字を書く（びょういんに行く）				○					○	78.7	2.2	74.9	4.7
2一	文の主語として適切なものを選択する				○					○	71.1	0.1	53.1	0.6
2二	文の型として適切なものを選択する				○					○	74.6	0.1	71.7	0.5
3	聞き方の説明として適切なものを選択する	○					○				58.7	0.2	53.0	0.5
4	説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する		○					○			89.5	0.1	86.0	0.3
5一	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する			○					○		64.0	0.6	59.5	1.6
5二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く			○					○		20.8	3.8	19.8	7.7
6	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する			○					○		71.4	0.9	67.5	2.6
7	応募のきまりを守っていないものを選択する			○	○				○	○	79.9	1.4	73.9	4.3

国語B

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点					本県		全国	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	正答率（%）	無解答率（%）	正答率（%）	無解答率（%）
1一	新聞の割り付けとして適切なものを選択する		○					○			79.0	0.1	74.6	0.5
1二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する		○					○			75.5	0.3	70.8	0.6
1三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く		○			○		○			50.2	2.0	34.7	4.0
2一ア	［ア］に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く			○					○		79.1	1.6	75.5	3.6
2一イ	［イ］に入る言葉として適切な内容を書き抜く			○					○		90.1	2.1	86.0	5.6
2二	【文章】の要旨をまとめて書く		○	○		○		○	○		86.3	3.9	78.4	7.0
2三	楽器の分担の決め方について，【楽器の分担図】を基にして書く		○	○		○		○	○		55.3	4.4	41.6	8.7
3一	〈絵3〉の場面が始まるまとまりとして適切なものを選択する			○					○		69.9	3.6	60.4	9.7
3二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く		○	○		○		○	○		76.6	7.4	66.6	15.1

《小学校第6学年 算数》

算数A

☆ 平均正答率は全国平均を上回り，知識・技能の定着は概ね良好である。

☆ 基本的な四則計算については良好である。

☆ 問題解決の根拠となる図形の性質を判断することに課題がある。

	児童数	平均正答数	平均正答率
本県	10,271 人	12.8 ／ 16 問	80.3 %
全国	1,061,301 人	12.0 ／ 16 問	75.2 %

算数B

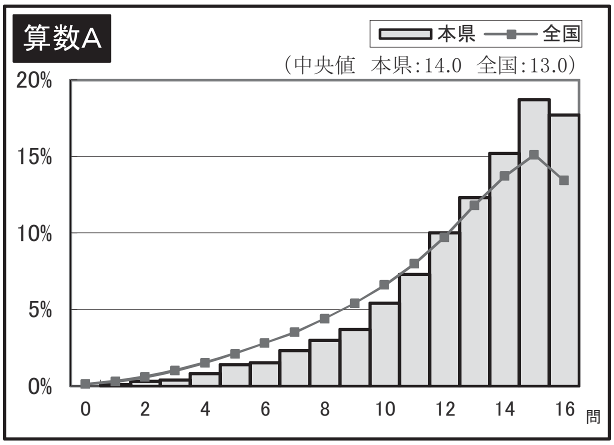
☆ 平均正答率は全国平均を上回るが，知識・技能を活用する力は不十分である。

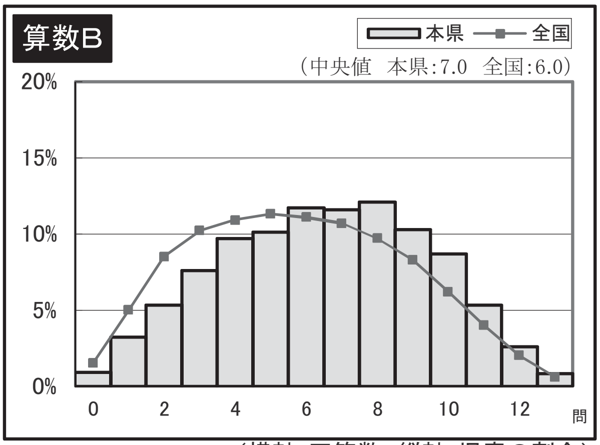
☆ 基準量，比較量，割合の関係を捉え，基準量を求めることに課題がある。

☆ 示された考えを活用して，発展的に考察することに課題がある。

	児童数	平均正答数	平均正答率
本県	10,269 人	6.5 ／ 13 問	50.4 %
全国	1,061,063 人	5.9 ／ 13 問	45.0 %

【正答数分布グラフ】





（横軸：正答数，縦軸：児童の割合）

【正答率の高い設問】

算数A

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(1)	28＋72を計算する	98.8	98.2
2	8	○を並べた図を基に式を読み，数に対応する○を黒く塗る	93.6	88.1
2	2(4)	5／6÷7を計算する	89.5	84.2

算数B

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	1(1)	平行四辺形を構成することができる，四つの辺の組み合わせを選ぶ	96.9	95.2
2	2(1)	トマトを7個買うとき，最も安くなる買い方を選び，そのときの代金を書く	69.1	64.8
3	4(2)	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	66.2	62.0

【正答率の低い設問】

算数A

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	5(1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として，最もふさわしい円の特徴を選ぶ	54.9	50.6
2	4(2)	分度器の目盛りを読み，180°より大きい角の大きさを求める	65.7	58.0
3	5(2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の，角の大きさを求める	67.8	64.5

算数B

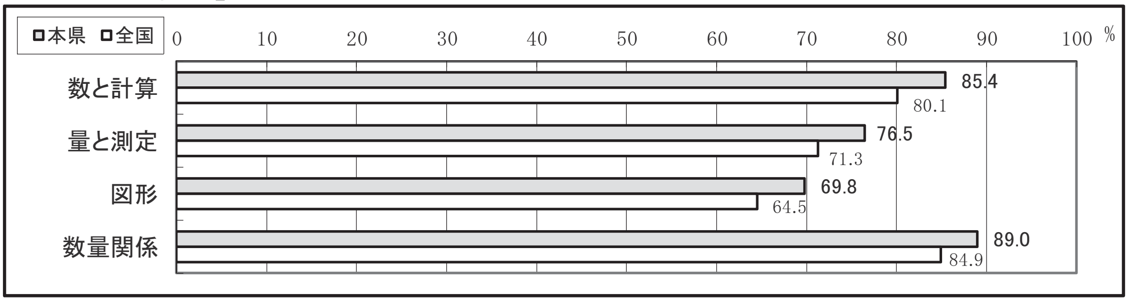
	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	5(1)	示された図において，分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く	15.9	12.5
2	2(2)	20%増量した商品の内容量が480mLであるとき，増量前の内容量を求める式と答えを書く	16.2	13.1
3	4(3)	目標に達するには，12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	28.2	22.3

【到達状況の傾向】

◎：良好である　○：概ね良好である　◇：基準に到達している　▽：十分とはいえない　▼：不十分である

算数A

【領域別の平均正答率】



［数と計算］
- ◎：　基本的な四則計算をすること〔2(1)(3)(4)〕
- ◇：　末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすること〔1(2)〕

［量と測定］
- ○：　90°，180°，270°，360°を基準として角の大きさの見当を付けること〔4(1)〕
- ▽：　分度器を用いて，180°よりも大きい角の大きさを求めること〔4(2)〕

［図形］
- ○：　見取り図の情報を基に，展開図に必要な面の大きさを読み取ること〔6(1)〕
- ▼：　二等辺三角形を円の性質と関連付けて捉えること〔5(1)〕

［数量関係］
- ◎：　式で表現された数量の関係を図と関係付けて理解すること〔8〕
- ○：　グラフに表わされている事柄を読み取ること〔7〕

算数B

［物事を数・量・図形などに着目し観察し的確に捉えること］
- ▼：　正三角形の性質を基に，示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めること〔3(1)〕
- ▼：　基準量，比較量，割合の関係を捉え，基準量を求めること〔2(2)〕

［与えられた情報を分類整理したり必要なものを適切に判断すること］
- ◎：　図形の約束や性質を振り返り，図形を構成できる場合における辺の組み合わせを理解すること〔1(1)〕
- ▼：　概数を用いた見積りの結果とそれに基づく判断を理解し，その判断の理由を記述すること〔4(3)〕

［筋道を立てて考えたり振り返って考えたりすること］
- ▽：　基準量，比較量，割合の関係を基に，示された求め方の誤りを指摘し，修正すること〔2(3)〕
- ▽：　単位量当たりの大きさを用いて，目的に応じた買い物の仕方を選択すること〔2(1)〕

［事象を数学的に解釈したり自分の考えを数学的に表現したりすること］
- ▼：　日常の事象を図形として捉え，図形の約束や性質を用いて事象を解釈したり説明したりすること〔1(3)〕
- ▼：　長方形の面積を2等分する考えを基に，分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を数学的に表現すること〔5(1)〕

〔　〕内：設問番号

【各設問の正答率等】

算数A

□：正答率が全国より高い

設問番号	設問の概要	領域				評価の観点				本県		全国	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1(1)	8．9－0．78の差の概算の結果として，ふさわしい数値を選ぶ	○							○	82.0	0.3	71.0	0.6
1(2)	5．21＋0．7は0．01が何個集まった数かを表すための式として，ふさわしい数値の組み合わせを書く	○						○		79.4	0.5	74.3	1.1
1(3)	小数の加法の結果を，減法を用いて確かめるとき，当てはまる数値の組み合わせを書く	○							○	84.0	1.1	82.0	2.0
2(1)	28＋72を計算する	○						○		98.8	0.1	98.2	0.2
2(2)	6．79－0．8を計算する	○						○		78.3	0.4	69.5	0.7
2(3)	5／9－1／4を計算する	○						○		85.6	0.9	81.4	1.8
2(4)	5／6÷7を計算する	○						○		89.5	1.9	84.2	4.1
3	午後3時10分までに図書館に着くために，所要時間の5分と20分を基に，家を出発する時刻を求める		○					○		78.0	0.5	74.8	1.0
4(1)	90°，180°，270°，360°を基準として角の大きさを見当付けたものから，正しいものを選ぶ		○						○	85.7	0.1	81.3	0.3
4(2)	分度器の目盛りを読み，180°より大きい角の大きさを求める		○					○		65.7	0.2	58.0	0.5
5(1)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として，最もふさわしい円の特徴を選ぶ			○					○	54.9	0.6	50.6	1.6
5(2)	円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の，角の大きさを求める			○					○	67.8	1.4	64.5	2.4
6(1)	作成途中の直方体の展開図について，残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く			○					○	81.0	1.1	75.4	2.1
6(2)	作成途中の直方体の展開図について，残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ			○					○	75.7	1.4	67.6	3.4
7	ハンカチを5日間持ってきた人数が，学年全体の人数の半分より少ない学年は，4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ				○				○	84.3	0.9	81.8	2.3
8	○を並べた図を基に式を読み，数に対応する○を黒く塗る				○				○	93.6	2.1	88.1	4.6

算数B

設問番号	設問の概要	領域				評価の観点				本県		全国	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	正答率（%）	無解答率（%）	正答率（%）	無解答率（%）
1(1)	平行四辺形を構成することができる，四つの辺の組み合わせを選ぶ			○					○	96.9	0.0	95.2	0.1
1(2)	作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ			○					○	58.6	0.5	54.6	1.0
1(3)	二組の道のりが，それぞれ等しくなることを書く			○			○			33.8	8.1	27.7	14.3
2(1)	トマトを7個買うとき，最も安くなる買い方を選び，そのときの代金を書く		○		○			○		69.1	0.1	64.8	0.3
2(2)	20％増量した商品の内容量が480mLであるとき，増量前の内容量を求める式と答えを書く				○		○			16.2	2.4	13.1	4.5
2(3)	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見いだし，正しい求め方と答えを書く				○		○			60.0	7.2	51.0	12.8
3(1)	周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために，それぞれどこの目盛りのところを持てばよいかを書く	○		○			○			36.8	3.5	32.5	6.7
3(2)	合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに，㋐の角が30°になるわけを書く			○			○			55.4	12.8	49.1	18.9
4(1)	四つの数を四捨五入して，千の位までのおよその数に表し，それらの数の和を求める式と答えを書く	○						○		63.5	1.2	52.6	2.4
4(2)	切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ	○					○			66.2	1.5	62.0	3.9
4(3)	目標に達するには，12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く	○					○			28.2	8.9	22.3	15.3
5(1)	示された図において，分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く		○	○			○			15.9	13.8	12.5	21.0
5(2)	示された図形の色がついた部分の面積を求める		○	○			○			54.1	11.3	47.8	17.3

《小学校第6学年 理科》

理 科

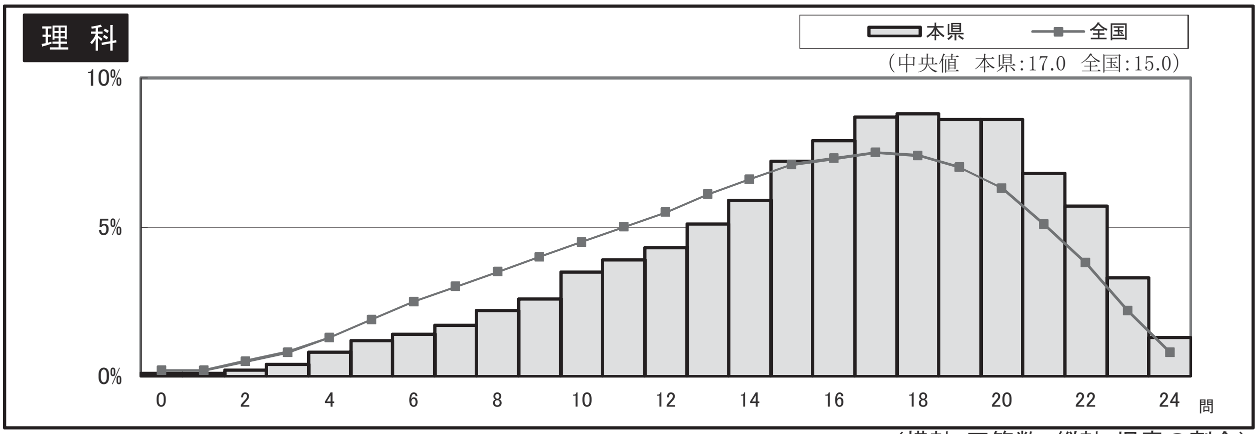
☆ 平均正答率は，全国平均を上回っているが，主として「知識」に関する問題，主として「活用」に関する問題については，どちらも十分とはいえない。

☆ 観察・実験の器具について，適切な操作技能に関する知識の定着に依然として課題がある。

☆ 予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想したり，実験結果を基に自分の考えを改善したりすることに課題がある。

	児童数	平均正答数	平均正答率
本県	10,276 人	16.0 ／24 問	66.7 %
全国	1,060,792 人	14.6 ／24 問	60.8 %

【正答数分布グラフ】



（横軸：正答数，縦軸：児童の割合）

【正答率の高い設問】

理科「知識」

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(1)	メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	85.2	78.0
2	3(1)	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ	85.1	81.9
3	3(4)	示された器具（メスシリンダー）の名称を書く	77.5	70.7

理科「活用」

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	4(6)	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について，実験結果から言えることを選ぶ	87.2	84.2
2	1(1)	振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ	83.8	77.6
3	2(2)よし子	生物の成長に必要な養分のとり方について，仲間分けした観点を選ぶ	82.7	76.3

【正答率の低い設問】

理科「知識」

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(4)	顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ	42.4	37.9
2	4(3)	星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ	54.0	55.3
3	3(5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ	54.3	51.7

理科「活用」

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	3(6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから，水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び，選んだわけを書く	36.0	28.9
2	4(1)	方位についての情報から，観察している方位を選ぶ	51.6	41.0
3	2(5)	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から，適した栽培場所を選び，選んだわけを書く	52.3	44.2

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

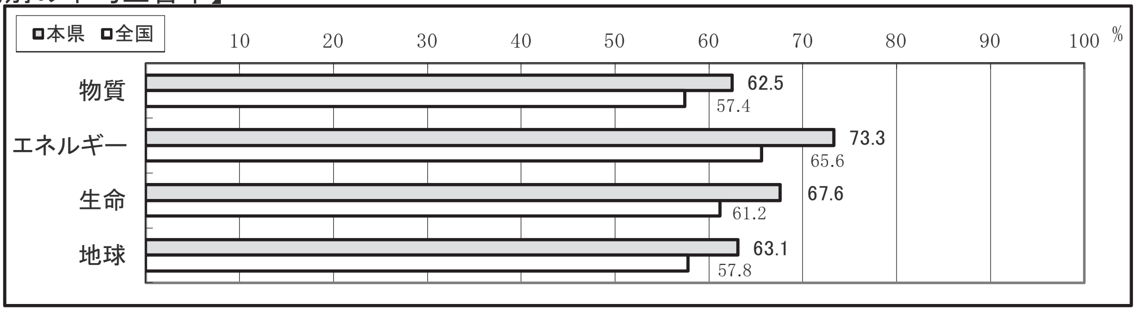
理科「知識」

	設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1	4(3)	星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ	54.0	55.3	-1.3

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域別の平均正答率】



理科「知識」

［物質］
- ○ : 水蒸気は水が気体になったものであることを理解すること〔3(1)〕
- ▼ : メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けること〔3(5)〕

［生命］
- ▼ : 顕微鏡の適切な操作方法を身に付けること〔2(4)〕

［地球］
- ▽ : 月は一日のうち時刻によって形は変わらないが，位置が変わることを理解すること〔4(2)〕
- ▼ : 星の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けること〔4(3)〕

理科「活用」

［物質］
- ▼ : 水の温まり方を考察するために，実験結果を基に自分の考えを改善すること〔3(3)〕
- ▼ : 析出する砂糖の量について分析するために，グラフを基に考察し，その内容を記述すること〔3(6)〕

［エネルギー］
- ○ : 振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について，条件を制御しながら構想すること〔1(1)〕
- ▽ : 電磁石と磁石の同極が退け合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに適用すること〔1(4)〕

［生命］
- ○ : 生物の成長に必要な養分の取り方について，調べた結果を視点をもって考察し分析すること〔2(2)よし子〕
- ▼ : 植物の適した栽培場所について，成長の様子と日光の当たり方を適用して，その内容を記述すること〔2(5)〕

［地球］
- ○ : 打ち水の効果について，グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係付けながら考察して分析すること〔4(6)〕
- ▼ : 方位を判断するために，観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析すること〔4(1)〕

〔 〕内:設問番号

【各設問の正答率等】

理 科

□ :正答率が全国より高い

設問番号	設問の概要	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	領域 物質	領域 エネルギー	領域 生命	領域 地球	評価の観点 自然事象への関心・意欲・態度	評価の観点 科学的な思考・表現	評価の観点 観察・実験の技能	評価の観点 自然事象についての知識・理解	本県 正答率(%)	本県 無解答率(%)	全国 正答率(%)	全国 無解答率(%)
1(1)	振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ		○		○				○			83.8	0.0	77.6	0.2
1(2)	振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ		○		○				○			67.7	0.5	61.2	0.7
1(3)	振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び，選んだわけを書く		○	○	○				○			72.9	0.4	62.8	1.1
1(4)	電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ		○		○				○			60.4	0.4	53.2	1.3
1(5)ア	電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について，当てはまるものを選ぶ		○		○				○			78.4	0.2	72.7	0.9
1(5)イ			○		○				○			76.5	0.3	66.2	1.0
2(1)	メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ	○				○					○	85.2	0.1	78.0	0.3
2(2)よし子	生物の成長に必要な養分のとり方について，仲間分けした観点を選ぶ		○			○			○			82.7	0.3	76.3	0.6
2(2)ひろし			○			○			○			72.7	0.3	69.0	0.8
2(3)	示された器具(顕微鏡)の名称を書く	○				○				○		70.3	7.5	61.6	16.1
2(4)	顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ	○				○				○		42.4	0.5	37.9	1.0
2(5)	インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から，適した栽培場所を選び，選んだわけを書く		○			○	○		○			52.3	1.1	44.2	2.8
3(1)	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ	○		○							○	85.1	0.2	81.9	0.5
3(2)	水の温まり方の予想を基に，温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ		○	○					○			58.7	0.3	54.0	0.7

3(3)	水の温まり方について，実験結果から考え直した内容を選ぶ		○	○					○			53.0	0.5	51.7	1.1
3(4)	示された器具(メスシリンダー)の名称を書く	○		○						○		77.5	4.9	70.7	10.7
3(5)	メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ	○		○						○		54.3	1.8	51.7	2.9
3(6)	水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから，水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び，選んだわけを書く		○	○					○			36.0	2.5	28.9	5.7
4(1)	方位についての情報から，観察している方位を選ぶ		○				○		○			51.6	0.9	41.0	2.0
4(2)	夕方にみられる月の形と場所を選ぶ	○					○				○	60.7	0.8	56.1	2.0
4(3)	星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ	○					○			○		54.0	1.0	55.3	2.2
4(4)	観察した星座や雲の動きを選ぶ		○				○		○			67.3	1.5	65.0	3.0
4(5)	水が水蒸気になる現象について，その名称を書く	○					○				○	69.0	7.2	58.5	15.2
4(6)	地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について，実験結果から言えることを選ぶ		○				○		○			87.2	2.2	84.2	4.2

《中学校第3学年 国語》

国語A

☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り，知識・技能については基準に到達している。

☆ 文章から適切な情報を得て，考えをまとめることは良好である。

☆ 表現の技法について理解することや，語句の意味を理解し文脈の中で適切に使うことの一部に課題がある。

	生徒数	平均正答数	平均正答率
本県	10,426 人	25.8 ／ 33 問	78.1 %
全国	1,016,451 人	25.0 ／ 33 問	75.8 %

国語B

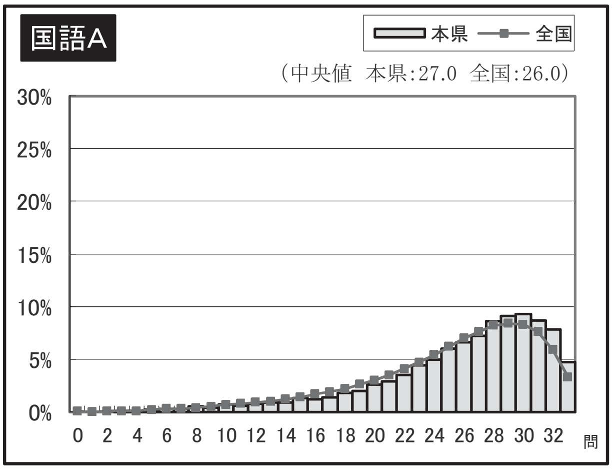
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが，知識・技能を活用する力は十分とはいえない。

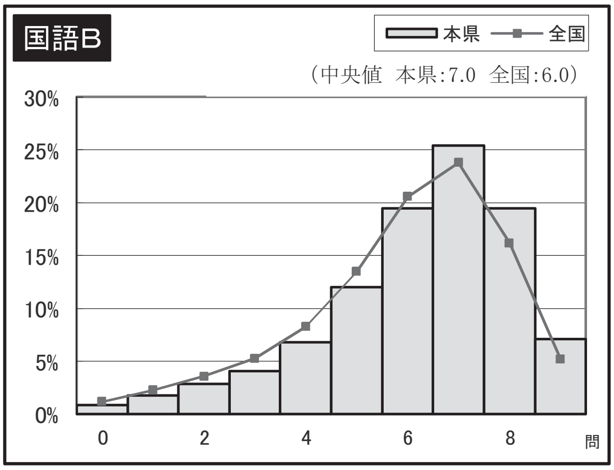
☆ 表現の工夫について自分の考えを持つことは良好である。

☆ 根拠を明確にしたり，複数の資料から適切な情報を得たりして，自分の考えを具体的に書くことに依然として課題がある。

	生徒数	平均正答数	平均正答率
本県	10,425 人	6.2／ 9 問	69.1 %
全国	1,016,575 人	5.9／ 9 問	65.8 %

【正答数分布グラフ】





（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）

【正答率の高い設問】

国語A

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	9三ア	適切な語句を選択する（将来は，気象予報士になりたい）	97.9	97.6
2	9二3	漢字を読む（学校のことが新聞に載る）	97.3	97.2
3	9二2	漢字を読む（シャツの袖をまくる）	94.5	94.1

国語B

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	3一	「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する	89.8	88.6
2	1二	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	89.3	87.3
3	3二	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する	86.1	82.6

【正答率の低い設問】

国語A

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	9四②	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する	36.9	33.7
2	9三オ	適切な語句を選択する（たなびく雲の間から，春の光がもれている）	47.6	49.0
3	3一	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する	59.6	58.3

国語B

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し，その社会にどのように関わっていきたいか，自分の考えを書く	28.0	23.0
2	3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて，話の展開を取り上げて自分の考えを書く	35.1	31.1
3	1三	演奏するタイミングを選択し，その理由をノートの内容と結び付けて書く	60.7	56.2

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

国語A

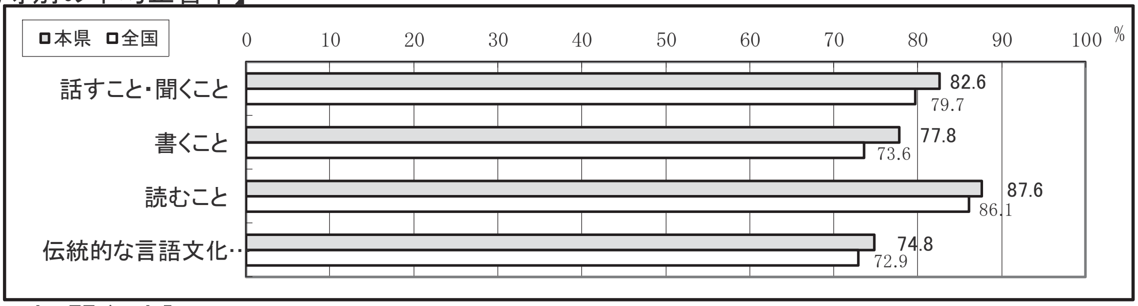
	設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1	9三オ	適切な語句を選択する(たなびく雲の間から,春の光がもれている)	47.6	49.0	-1.4
2	9二1	漢字を読む(詳細に述べる)	77.1	78.2	-1.1
3	9一1	漢字を書く(ビョウソク五メートルの風が吹く)	87.9	88.5	-0.6

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

国語A

【領域等別の平均正答率】



[話すこと・聞くこと]

◎ : 相手の反応を踏まえて話すこと〔1一〕

◇ : 聞き手を意識し,分かりやすい語句を選択して話すこと〔1二〕

[書くこと]

○ : 意見を支える根拠の明確さについて助言すること〔2一〕

◇ : 伝えたい事実を棒グラフから読み取り,明確に書くこと〔4一〕

[読むこと]

◎ : 文章から適切な情報を得て,考えをまとめること〔5一〕

◇ : 目的に応じて要旨を捉えること〔6一〕

[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]

◇ : 語句の意味を理解し,文脈の中で適切に使うこと〔9三〕

▼ : 表現の技法について理解すること〔3一〕

国語B

[話すこと・聞くこと]

○ : 効果的な資料を作成し,活用して話すこと〔1二〕

[読むこと]

○ : 表現の工夫について自分の考えを持つこと〔3一,二〕

[話すこと・聞くこと/書くこと]

▽ : 資料の提示の仕方を工夫し,その理由を具体的に書くこと〔1三〕

[書くこと/読むこと]

▼ : 複数の資料から適切な情報を得て,自分の考えを具体的に書くこと〔2三〕

▼ : 文章の構成や展開などを踏まえ,根拠を明確にして自分の考えを書くこと〔3三〕

〔 〕内:設問番号

【各設問の正答率等】

国語A

□:正答率が全国より高い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点					本県		全国	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1一	スピーチの途中で聞き手の反応を見て，とった対応として適切なものを選択する	○					○				94.3	0.0	93.0	0.1
1二	「成否」という言葉を，聞いて分かりやすい表現に直す	○					○				70.8	7.9	65.0	12.0
2一	意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する		○					○			85.3	0.1	79.8	0.2
2二	意見文を直した意図として適切なものを選択する		○					○			87.1	0.0	83.6	0.2
3一	用いられている表現の工夫として適切なものを選択する				○					○	59.6	0.2	58.3	0.4
3二	一人も返事をしたものがなかった理由として適切なものを選択する			○					○		90.3	0.1	88.7	0.2
3三	嘉助の言動から読み取れる様子として適切なものを選択する			○					○		91.2	0.1	89.8	0.3
4一	棒グラフの■部の変化の内容を適切に書く		○					○			72.8	3.6	67.6	4.2
5一	「なぜ，排水管はS字形になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する			○					○		94.4	0.1	93.6	0.2
6一	「あす」と「あした」という言葉の意味の変化を整理した表に当てはまる言葉として適切なものを選択する			○					○		73.9	0.1	71.3	0.3
6二	文章について説明したものとして適切なものを選択する			○					○		88.4	0.2	87.1	0.4
7一	二つの回答案の構成の違いを説明したものとして適切なものを選択する		○					○			73.3	0.5	70.6	0.7
7二	要望を適切に捉え，回答案の冒頭に一文を加える		○					○			70.6	7.5	66.4	8.6
8一	インタビューをする際の質問の意図として適切なものを選択する	○					○				86.3	0.5	84.6	0.6
8二	意図に合った質問として適切なものを選択する	○					○				78.9	0.6	76.1	0.7
9一1	漢字を書く（ビョウソク五メートルの風が吹く）				○					○	87.9	1.8	88.5	2.2
9一2	漢字を書く（地図のシュクシャクを調べる）				○					○	77.5	6.7	72.1	10.1
9一3	漢字を書く（アマったお金を貯金する）				○					○	72.6	13.2	70.9	15.9
9二1	漢字を読む（詳細に述べる）				○					○	77.1	4.2	78.2	5.1
9二2	漢字を読む（シャツの袖をまくる）				○					○	94.5	1.0	94.1	1.2
9二3	漢字を読む（学校のことが新聞に載る）				○					○	97.3	1.1	97.2	1.3

9三ア	適切な語句を選択する（将来は，気象予報士になりたい）				○					○	97.9	0.4	97.6	0.5
9三イ	適切な語句を選択する（彼がこの討論の口火を切った）				○					○	60.0	0.7	55.5	0.9
9三ウ	適切な敬語を選択する（私が先生のお宅に参ります）				○					○	86.2	0.6	84.1	0.7
9三エ	適切な語句を選択する（彼女は，学級の縁の下の力持ちと言える存在だ）				○					○	73.1	0.7	70.8	0.8
9三オ	適切な語句を選択する（たなびく雲の間から，春の光がもれている）				○					○	47.6	0.6	49.0	0.7
9三カ	適切な語句を選択する（新聞を読む習慣を身に付ける）				○					○	87.1	0.7	86.9	0.9
9四①	「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する				○					○	65.0	0.8	62.3	0.9
9四②					○					○	36.9	0.9	33.7	1.1
9五	運筆の際の説明に対応する部分として適切なものを選択する				○					○	87.5	0.7	85.9	0.8
9六	手紙の後付けの直し方とその理由として適切なものを選択する				○					○	67.1	1.0	58.2	1.2
9七1	漫画の言葉に対応する部分として適切なものを古典の文章の中から選択する				○					○	78.0	1.2	75.3	1.4
9七2	古典の作品名を漢字で書く				○					○	68.6	7.7	66.7	9.9

国語B

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点					本県		全国	
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	正答率（%）	無解答率（%）	正答率（%）	無解答率（%）
1一	ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する	○					○				76.5	0.1	73.2	0.2
1二	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	○					○				89.3	0.3	87.3	0.4
1三	演奏するタイミングを選択し，その理由をノートの内容と結び付けて書く	○	○			○	○	○			60.7	2.5	56.2	2.8
2一	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する			○					○		85.4	0.1	82.6	0.3
2二	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する			○					○		71.2	0.2	67.8	0.3
2三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し，その社会にどのように関わっていきたいか，自分の考えを書く		○	○		○		○	○		28.0	3.8	23.0	3.7
3一	「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する			○					○		89.8	0.4	88.6	0.5
3二	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する			○					○		86.1	0.5	82.6	0.7
3三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて，話の展開を取り上げて自分の考えを書く		○	○		○		○	○		35.1	10.2	31.1	11.2

《中学校第3学年 数学》

数学A

☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが，知識・技能については十分とはいえない。

☆ 正の数と負の数の四則計算や一次式の減法の計算は概ね良好である。

☆ 数量の関係を文字式に表すこと，証明の必要性と意味を理解することなどに課題がある。

数学B

☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが，知識・技能を活用する力は不十分である。

☆ 問題場面における考察の対象を明確に捉えることは概ね良好である。

☆ 事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明すること，問題解決の方法を数学的に説明することなどに課題がある。

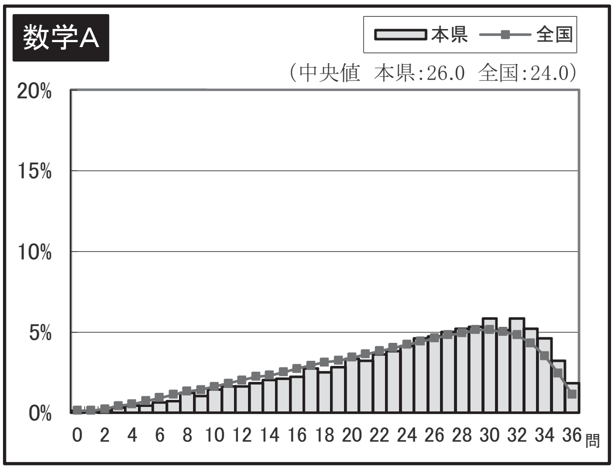
数学A

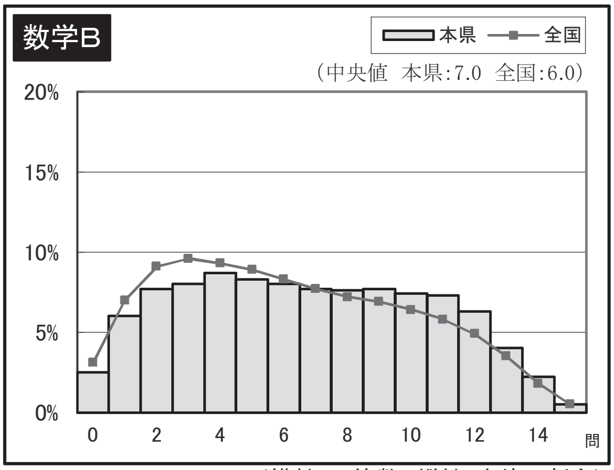
	生徒数	平均正答数	平均正答率
本県	10,423　人	24.4 ／ 36　問	67.8　%
全国	1,016,737　人	23.2 ／ 36　問	64.4　%

数学B

	生徒数	平均正答数	平均正答率
本県	10,420　人	6.7 ／ 15　問	44.9　%
全国	1,016,548　人	6.2 ／ 15　問	41.6　%

【正答数分布グラフ】





（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）

【正答率の高い設問】

数学A

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	1(1)	12:9 と等しい比を選ぶ	94.4	93.6
2	1(2)	12－2×(－6)を計算する	88.3	83.7
3	5(2)	直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ぶ	86.0	83.4

数学B

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(1)	連続する3つの整数が19，20，21のとき，それらの和が中央の整数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	81.1	78.8
2	5(3)	記名のある落とし物を1個1点，ない落とし物を1個2点として集計するとき，表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ	69.4	67.3
3	2(3)	連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	69.3	63.8

【正答率の低い設問】

数学A

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(2)	赤いテープの長さが a cm で，白いテープの長さの3／5倍のとき，白いテープの長さを a を用いた式で表す	24.8	22.2
2	8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	27.9	25.8
3	13	二元一次方程式 $x+y=3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ	40.7	37.9

数学B

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	1(3)	映像の明るさを2倍にするための投映画面の面積の変え方を選び，その理由を説明する	12.0	11.7
2	3(2)	四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を，平行四辺形になるための条件を用いて説明する	25.6	21.2
3	5(2)	2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を，グラフを基に説明する	25.8	23.3

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

数学B

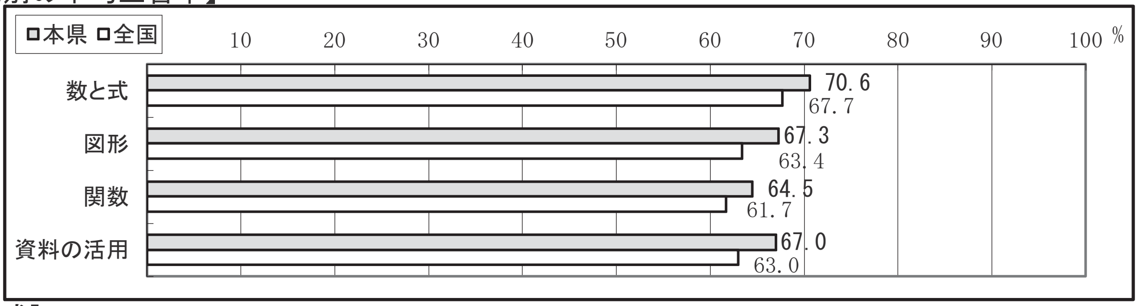
	設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1	6(1)	中心角の大きさxと半径の長さyの間にある関係について，正しい記述を選ぶ	44.1	46.5	-2.4

【到達状況の傾向】

◎：良好である　○：概ね良好である　◇：基準に到達している　▽：十分とはいえない　▼：不十分である

数学A

【領域別の平均正答率】



［数と式］

◎： 比の意味を理解すること〔1(1)〕

▼： 数量の関係を文字式に表すこと〔2(2)〕

［図形］

○： 回転によって構成される空間図形の形を理解すること〔5(2)〕

▼： 証明の必要性と意味を理解すること〔8〕

［関数］

○： グラフから，与えられた時間における道のりを読み取ること〔12(2)〕

▼： 二元一次方程式の解を座標とする点の集合は，直線として表されることを理解すること〔13〕

［資料の活用］

◇： 起こり得る場合を順序よく整理し，場合の数を求めること〔15(1)〕

▼： 与えられた資料から中央値を求めること〔14(1)〕

数学B

［知識・技能などを実生活の様々な場面で活用する力　α］

▽： 不確定な事象を考察する場面で，結果を振り返って問題解決のための新たな構想を立てること〔5(3)〕

▼： 与えられた情報を読み，必要な情報を適切に選択し，判断することや事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明すること〔1(1)，1(3)〕

▼： 数学的な結果を事象に即して解釈し，問題解決の方法を数学的に説明すること〔3(2)〕

［様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力　β］

▽： 見いだされた事柄について，発展的に考え，予想した事柄を説明すること〔2(3)〕

▼： 図形の証明を読み，発展的に考えて証明すること〔4(2)〕

［α・βの両方に関わる力　γ］

▼： 図形の性質を数量の関係に着目して捉え直す場面で，結果を振り返り，事象を数学的に解釈すること〔6(1)〕

〔　〕内：設問番号

【各設問の正答率等】

数学A

□：正答率が全国より高い

設問番号	設問の概要	領域				評価の観点				本県		全国	
		数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	正答率（%）	無解答率（%）	正答率（%）	無解答率（%）
1(1)	12:9 と等しい比を選ぶ	○							○	94.4	0.0	93.6	0.1
1(2)	12－2×(－6)を計算する	○						○		88.3	0.9	83.7	1.2
1(3)	a が正の数のとき，a×(－2)の計算の結果について，正しい記述を選ぶ	○							○	78.0	0.1	75.7	0.3
1(4)	ある日の最低気温を基準にして，その前日の最低気温との差から，前日の最低気温を求める	○							○	77.5	1.0	75.4	1.3
2(1)	5x－x を計算する	○						○		85.6	1.4	85.3	1.6
2(2)	赤いテープの長さが a cm で，白いテープの長さの3／5倍のとき，白いテープの長さを a を用いた式で表す	○						○		24.8	6.8	22.2	9.0
2(3)	等式 2x－y＝5 を y について解く	○						○		67.9	5.6	64.2	6.8
2(4)	連続する3つの整数のうち最も小さい整数を n とするとき，それらの和が中央の整数の3倍になることを，n を用いた式で表す	○							○	63.4	5.5	57.0	7.9
3(1)	一元一次方程式 7x＝5x＋4 を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	○							○	82.6	0.3	79.4	0.5
3(2)	一元一次方程式 1.2 x－6＝ 0.5 x＋1 を解く	○						○		77.9	5.7	73.8	7.1
3(3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	○						○		47.8	0.7	44.9	0.9
3(4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 4x + 2y = 5 \\ x + y = 2 \end{cases}$ を解く	○						○		58.5	9.8	56.8	10.4
4(1)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ		○						○	63.4	0.8	59.1	1.0
4(2)	△ABCを，矢印の方向に4cm 平行移動した図形をかく		○					○		62.2	1.5	54.5	2.2
5(1)	直方体において，与えられた辺に垂直な面を書く		○						○	54.9	1.2	47.4	1.9
5(2)	直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ぶ		○						○	86.0	0.2	83.4	0.3
5(3)	与えられた投影図から立体を読み取り，その立体を選ぶ		○					○		85.8	0.2	83.8	0.4
5(4)	与えられた式で体積が求められる立体を全て選ぶ		○						○	62.9	0.8	56.4	1.4
6(1)	同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ		○						○	81.3	0.4	80.3	0.4
6(2)	四角形を五角形に変えたときの，内角の和の変化について正しい記述を選ぶ		○						○	72.7	0.5	69.7	0.9
7(1)	ひし形ABCDにおいて，AC⊥BDが表す性質を選ぶ		○					○		81.4	0.3	76.1	0.5
7(2)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く		○						○	77.7	6.1	76.1	6.8
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が，いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ		○						○	52.0	0.7	48.1	0.9
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ		○						○	27.9	0.9	25.8	1.2
9	y が x の関数でない事象を選ぶ			○					○	85.1	0.7	81.5	0.9
10(1)	反比例のグラフを選ぶ			○					○	64.7	0.9	61.7	1.2
10(2)	比例 y＝2x のグラフ上の点Aの x 座標が3のときの y 座標を求める			○				○		67.0	8.0	64.9	9.8
10(3)	比例のグラフから，x の変域に対応する y の変域を求める			○				○		52.6	14.6	49.3	17.2
11	一次関数の表から，x と y の関係を表した式を選ぶ			○				○		67.4	1.2	64.7	1.4

12(1)	時間と道のりの関係を表すグラフから，速さが最も速い区間を選ぶ			○					○	52.7	1.0	49.9	1.3
12(2)	時間と道のりの関係を表すグラフを基に，出発してから15分後にいる地点までの家からの道のりを求める			○				○		85.9	7.3	83.8	8.5
13	二元一次方程式 $x+y=3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ			○					○	40.7	1.8	37.9	2.3
14(1)	反復横とびの記録の中央値を求める				○			○		51.7	8.1	46.0	9.7
14(2)	度数分布表について，ある階級の度数を求める				○			○		79.1	7.8	75.9	9.4
15(1)	セットメニューの選び方の総数を求める				○			○		77.9	4.3	74.8	5.2
15(2)	さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ				○				○	59.4	1.7	55.4	2.1

数学B

設問番号	設問の概要	領域				評価の観点				本県		全国	
		数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
1(1)	投映距離と投映画面の高さの関係を式で表す			○				○		32.9	17.5	29.3	21.1
1(2)	投映画面がスクリーンに収まり，できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ			○			○			37.4	0.8	35.1	0.9
1(3)	映像の明るさを2倍にするための投映画面の面積の変え方を選び，その理由を説明する			○			○			12.0	5.5	11.7	5.6
2(1)	連続する3つの整数が19，20，21のとき，それらの和が中央の整数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	○					○			81.1	4.6	78.8	6.0
2(2)	連続する3つの整数の和が中央の整数の3倍になることの説明を完成する	○					○			49.8	18.8	43.1	24.0
2(3)	連続する5つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	○					○			69.3	15.8	63.8	19.4
3(1)	ポップアップカードを90°に開いたとき，四角形EFGHが正方形になる場合のEFの長さを求める		○				○			46.2	7.4	42.6	8.7
3(2)	四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるように点Fの位置を決める方法を，平行四辺形になるための条件を用いて説明する		○				○			25.6	41.1	21.2	48.2
4(1)	証明で用いた三角形の合同を根拠として，証明したこと以外に新たにわかることを選ぶ		○				○			47.0	1.0	42.5	1.2
4(2)	正方形ABCDを平行四辺形ABCDに変えても，AE＝CFとなることの証明を完成する		○				○			52.6	17.6	49.6	18.6
5(1)	1回目の調査で，落とし物の合計のうち，文房具の占める割合を求める式を答える				○			○※		45.7	21.2	39.1	26.8
5(2)	2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を，グラフを基に説明する				○		○			25.8	25.5	23.3	29.7
5(3)	記名のある落とし物を1個1点，ない落とし物を1個2点として集計するとき，表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ	○					○			69.4	1.1	67.3	1.5
6(1)	中心角の大きさ x と半径の長さ y の間にある関係について，正しい記述を選ぶ			○			○			44.1	1.0	46.5	1.3
6(2)	底面になる円の半径の長さが8cm のとき，表や式から，側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する			○			○			35.1	16.2	30.8	17.1

※評価の観点は，数量や図形に関する技能（小学校）に対応させている。

《中学校第3学年 理科》

理 科

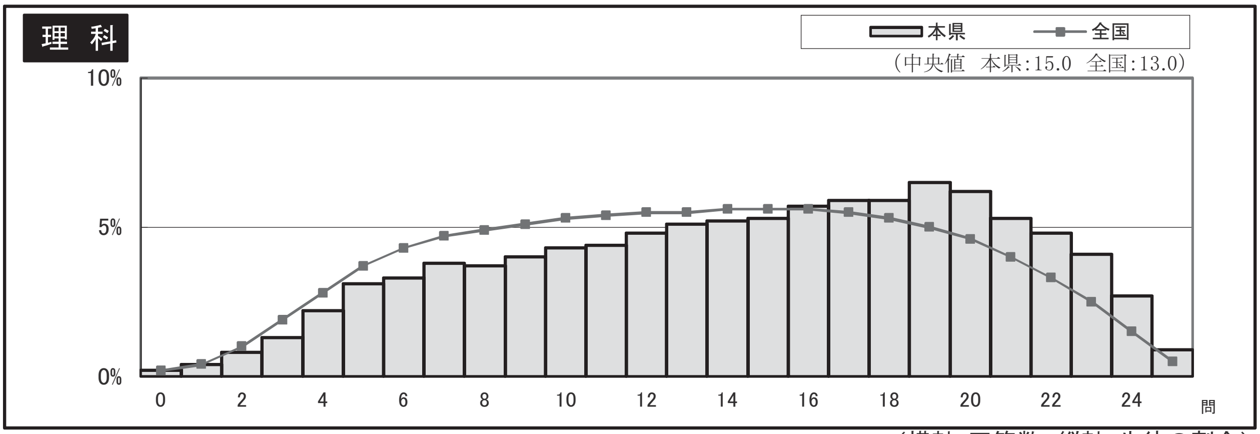
☆ 平均正答率は，全国平均を上回っているが，主として「知識」に関する問題については十分といえず，主として「活用」に関する問題については不十分である。

☆ 日常生活や社会の特定の場面において，理科で学習した知識・技能を活用することに課題がある。

☆ 自然の事物・現象から問題を見いだし，適切に課題作りをしたり，予想や仮説を設定して検証する実験を計画したりするなど，自らの考えや他者の考えを検討して改善することに課題がある。

	生徒数	平均正答数	平均正答率
本県	10,416 人	14.6／25 問	58.2 %
全国	1,016,572 人	13.3／25 問	53.0 %

【正答数分布グラフ】



（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）

【正答率の高い設問】

理科「知識」

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	1(1) 化学式	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	82.3	79.6
2	2(1)	天気図から風力を読み取る	81.0	77.9
3	7(1)	消化酵素によって，デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ	76.2	72.2

理科「活用」

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	7(2)	キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ	79.9	76.4
2	1(4)	炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の変化のグラフから，温度と化学変化の記述として適切なものを選ぶ	76.7	73.6
3	2(4)	上空を飛行中の飛行機内での菓子袋の膨らみを検証する実験について，空気を抜く操作に対応する飛行機の状況を推論する	65.0	62.2

【正答率の低い設問】

理科「知識」

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(2)	天気図から風向を読み取り，その風向を示している風向計を選ぶ	46.9	48.6
2	1(1) 濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	56.0	45.0
3	8(1)	背骨のある動物の名称を答える	63.6	63.9

理科「活用」

	設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(3)	湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について，その成因を説明した他者の考えを検討して，誤っているところを改善する	20.4	14.5
2	6(2)	音の高さは，空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ	34.2	29.9
3	1(2)	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき，どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ	39.3	32.6

【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

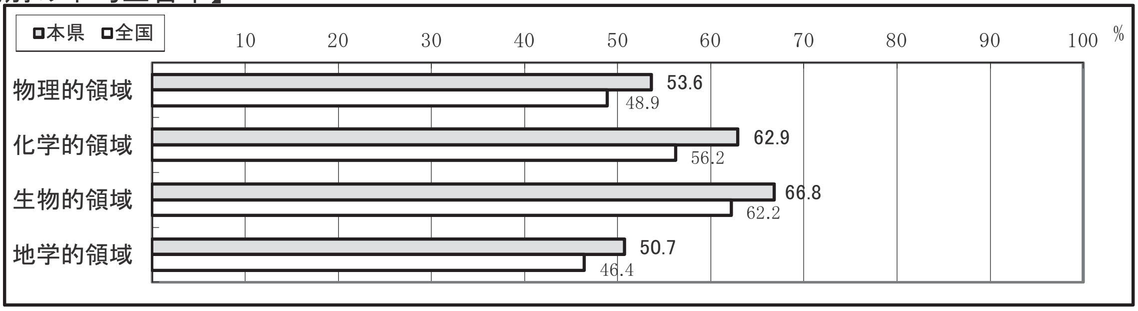
理科「知識」

	設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1	2(2)	天気図から風向を読み取り，その風向を示している風向計を選ぶ	46.9	48.6	-1.7
3	8(1)	背骨のある動物の名称を答える	63.6	63.9	-0.3

【到達状況の傾向】

◎：良好である　○：概ね良好である　◇：基準に到達している　▽：十分とはいえない　▼：不十分である

【領域別の平均正答率】



理科「知識」

第１分野（物理的領域）
- ▽：　オームの法則を使って，抵抗の値を求めること〔5(1)〕

第１分野（化学的領域）
- ○：　塩化ナトリウムを化学式で表すこと〔1(1)化学式〕
- ▼：　特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めること〔1(1)濃度〕

第２分野（生物的領域）
- ◇：　デンプンが消化酵素によって分解されて，最終的にできる物質の名称を表すこと〔7(1)〕
- ▽：　背骨のある動物を，セキツイ動物と表すこと〔8(1)〕

第２分野（地学的領域）
- ○：　天気の記号から風力を読み取ること〔2(1)〕
- ▼：　天気の記号から風向を読み取り，風向計を使って風向を観測すること〔2(2)〕

理科「活用」

第１分野（物理的領域）
- ▼：　凸レンズによってできる像を調べる実験の結果を分析して解釈し，規則性を指摘すること〔4(1)〕
- ▼：　音の高さは，「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画すること〔6(2)〕

第１分野（化学的領域）
- ◇：　グラフを分析して解釈し，化学変化について正しく読み取ること〔1(4)〕
- ▼：　実験の結果を分析して解釈し，炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘すること〔1(2)〕

第２分野（生物的領域）
- ◇：　実験の結果を分析して解釈し，キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘すること〔7(2)〕
- ▼：　他者の考察を検討して改善し，課題に対して適切な考察を記述すること〔8(3)〕

第２分野（地学的領域）
- ▼：　露点を測定する場面において，最も高い湿度の時刻を指摘すること〔3(1)〕
- ▼：　他者の考察を検討して改善し，水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明すること〔2(3)〕

〔　〕内：設問番号

【各設問の正答率等】

理　科

■：正答率が全国より高い

設問番号	設問の概要	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	領域：物理的領域	領域：化学的領域	領域：生物的領域	領域：地学的領域	評価の観点：自然事象への関心・意欲・態度	評価の観点：科学的な思考・表現	評価の観点：観察・実験の技能	評価の観点：自然事象についての知識・理解	本県：正答率（%）	本県：無解答率（%）	全国：正答率（%）	全国：無解答率（%）
1(1) 化学式	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	○			○						○	82.3	0.2	79.6	0.3
1(1) 濃度	濃度5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	○			○					○		56.0	13.4	45.0	17.6
1(2)	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき，どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ		○		○				○			39.3	0.2	32.6	0.3
1(3)	水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する		○		○				○			64.2	12.2	53.0	18.8
1(4)	炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の変化のグラフから，温度と化学変化の記述として適切なものを選ぶ		○		○				○			76.7	0.3	73.6	0.4
1(5)	ベーキングパウダーの原材料で，気体の発生に関係しているのが，炭酸水素ナトリウムであることを特定するための対照実験を選ぶ		○		○				○			60.2	0.5	51.7	0.8
1(6)	他者の考えを検討して改善し，炭酸水素ナトリウムとクエン酸の混合物を加熱したときの化学変化の説明として最も適切なものを選ぶ		○		○				○			61.6	1.0	57.7	1.2
2(1)	天気図から風力を読み取る	○					○				○	81.0	7.7	77.9	9.0
2(2)	天気図から風向を読み取り，その風向を示している風向計を選ぶ	○					○			○		46.9	0.4	48.6	0.5
2(3)	湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について，その成因を説明した他者の考えを検討して，誤っているところを改善する		○				○		○			20.4	6.3	14.5	6.7
2(4)	上空を飛行中の飛行機内での菓子袋の膨らみを検証する実験について，空気を抜く操作に対応する飛行機の状況を推論する		○	○			○		○			65.0	0.4	62.2	0.5
3(1)	13時から16時の四つの気象観測の記録から，最も高い湿度を選ぶ		○				○		○			44.2	0.6	36.5	0.6
3(2)	上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ		○				○		○			46.6	0.8	39.0	0.8

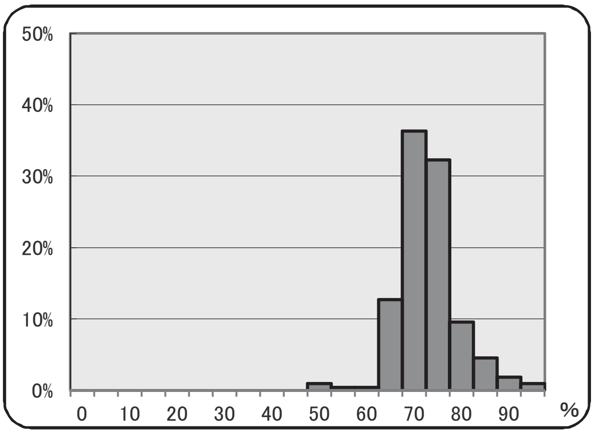
4(1)	実験の結果から，凸レンズによる実像ができるときの，像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ		○	○					○			47.6	0.5	43.7	0.6
4(2)	ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ		○	○					○			53.1	0.9	50.3	1.1
5(1)	抵抗に加わる電圧と流れる電流から，抵抗の大きさを計算して求める	○		○							○	65.9	13.3	59.6	15.6
5(2)	電磁石を動かさず，スイッチを入れたり切ったりすると，検流計の針が振れる理由を，「磁界」という言葉を使って説明する		○	○					○			62.9	23.8	56.8	30.7
6(1)	音の波形を比較し，音の高さが高くなった根拠として，正しいものを選ぶ		○	○					○			46.4	0.7	40.1	0.8
6(2)	音の高さは，空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ		○	○					○			34.2	0.9	29.9	1.0
7(1)	消化酵素によって，デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ	○				○					○	76.2	1.0	72.2	0.9
7(2)	キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ		○			○			○			79.9	1.2	76.4	1.1
7(3)	キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から，適切な課題を記述する		○			○			○			64.9	21.5	57.3	27.8
8(1)	背骨のある動物の名称を答える	○				○					○	63.6	8.2	63.9	10.4
8(2)	えらぶたの開閉回数の平均値を求める理由として適切なものを選ぶ		○			○			○			61.1	1.4	55.7	1.4
8(3)	課題に対して適切な(課題に正対した)考察になるよう修正する		○			○			○			55.1	20.8	47.4	25.5

（2）学校の分布状況

《公立小学校第6学年》

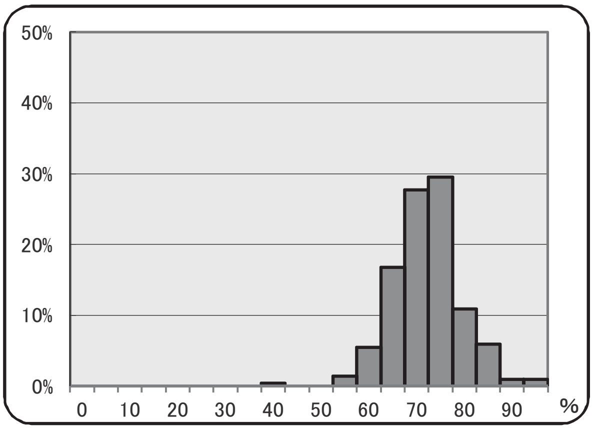
国語A

学校数	学校の平均正答率の県平均
220 校	75.3%



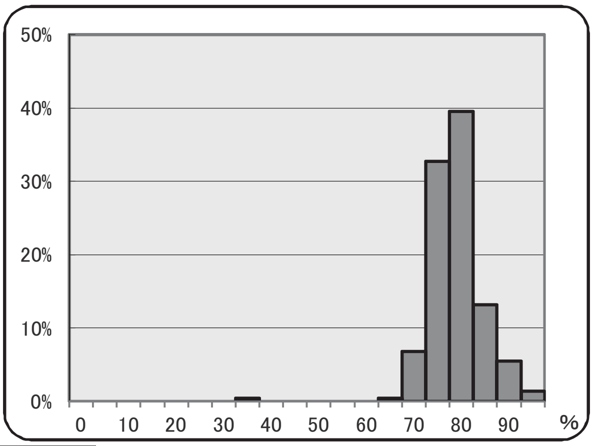
国語B

学校数	学校の平均正答率の県平均
220 校	74.7%



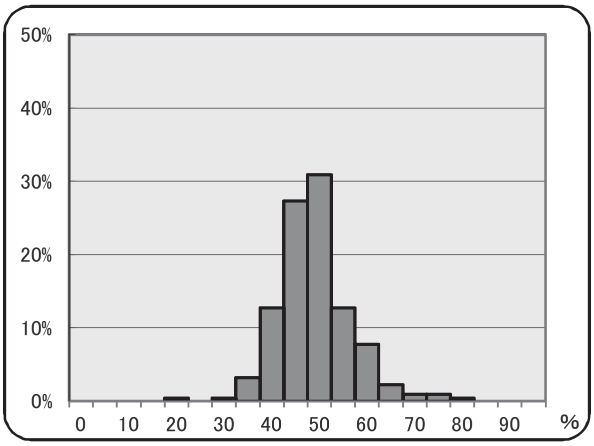
算数A

学校数	学校の平均正答率の県平均
220 校	81.2%



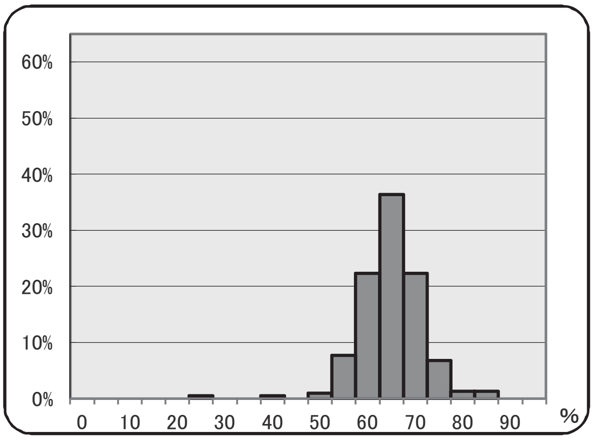
算数B

学校数	学校の平均正答率の県平均
220 校	51.4%



理科

学校数	学校の平均正答率の県平均
220 校	67.3%



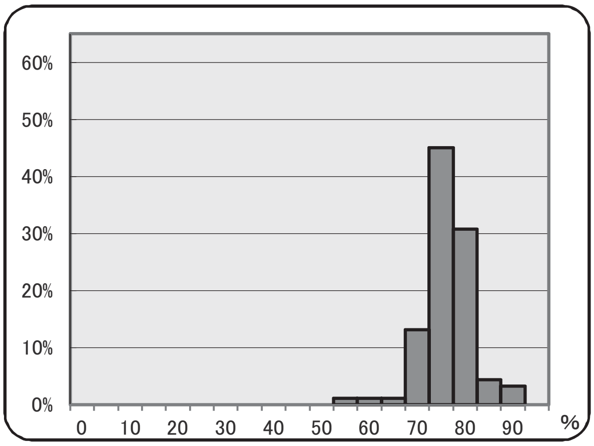
※学校の平均正答率の県平均は、各学校の平均を平均した数値でありP3等の平均正答率とは異なる。

（横軸：学校の平均正答率　縦軸：学校数の割合）

《公立中学校第3学年》

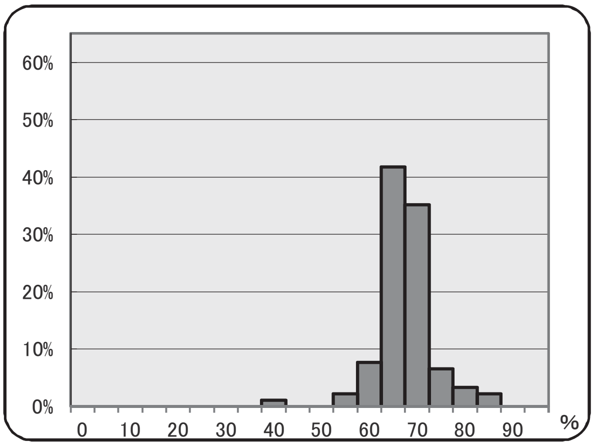
国語A

学校数	学校の平均正答率の県平均
91 校	78.8%



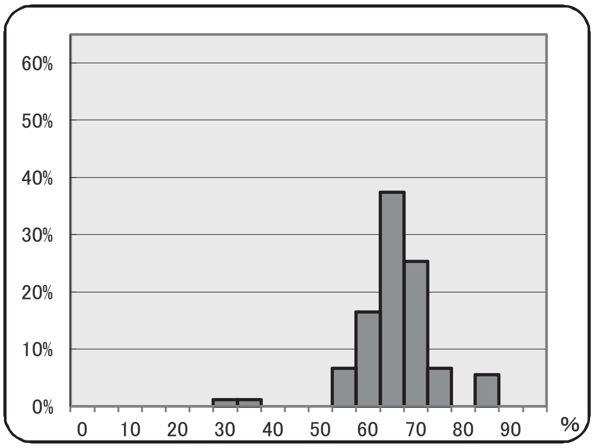
国語B

学校数	学校の平均正答率の県平均
91 校	69.9%



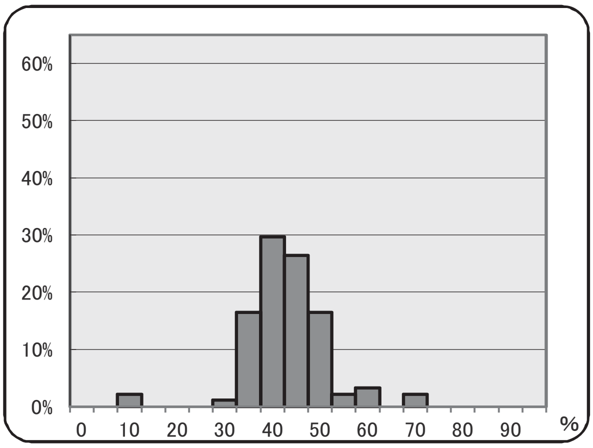
数学A

学校数	学校の平均正答率の県平均
91 校	68.4%



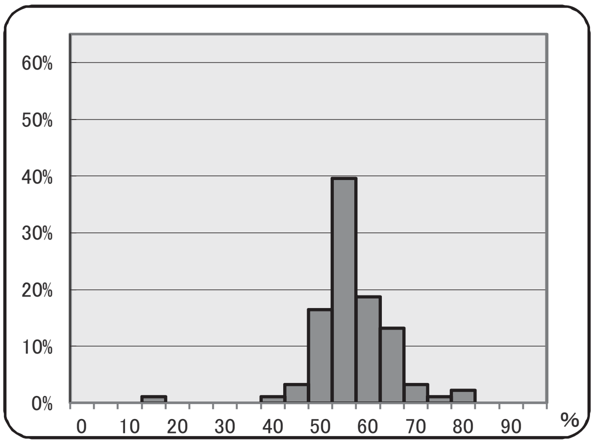
数学B

学校数	学校の平均正答率の県平均
91 校	45.6%



理科

学校数	学校の平均正答率の県平均
91 校	59.1%

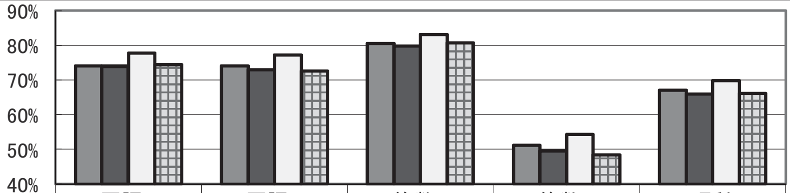


※学校の平均正答率の県平均は、各学校の平均を平均した数値でありP3等の平均正答率とは異なる。

（横軸：学校の平均正答率　縦軸：学校数の割合）

（3） 各教育事務所の状況

〔小学校〕



	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
小松	74.0%	74.0%	80.4%	51.1%	67.1%
金沢	74.0%	72.9%	79.7%	49.6%	66.0%
中能登	77.8%	77.1%	83.1%	54.3%	69.8%
奥能登	74.4%	72.5%	80.6%	48.4%	66.0%

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数Aは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。算数Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
小松市	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。算数Bは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
能美市	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
川北町	国語ABともに，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。
野々市市	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率をやや下回る。 算数ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。
金沢市	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率をやや下回る。算数Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率をやや下回る。
内灘町	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率をやや下回る。算数Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
かほく市	国語Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。

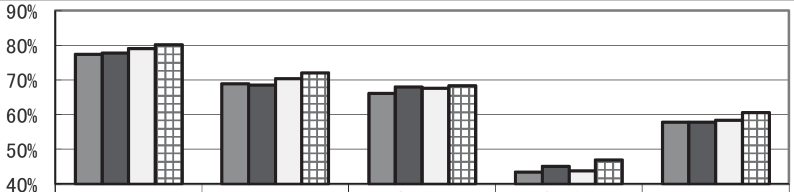
【中能登教育事務所管内】

宝達志水町	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率をやや下回る。
志賀町	国語ABともに，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 算数Aは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。算数Bは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 理科は，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。
羽咋市	国語ABともに，県の平均正答率を上回る。 算数ABともに，県の平均正答率を上回る。 理科は，県の平均正答率を上回る。
中能登町	国語ABともに，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。
七尾市	国語ABともに，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 算数ABともに，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 理科は，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。

【奥能登教育事務所管内】

能登町	国語Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
穴水町	国語ABともに，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 算数Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。算数Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率をやや下回る。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
輪島市	国語Aは，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。国語Bは，国の平均正答率をやや上回り，県の平均正答率をやや下回る。 算数Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。算数Bは，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率をやや下回る。
珠洲市	国語ABともに，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 算数ABともに，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。

〔中学校〕



	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
小松	77.4%	68.8%	66.1%	43.4%	57.8%
金沢	77.8%	68.5%	68.0%	45.0%	57.7%
中能登	79.0%	70.3%	67.6%	43.8%	58.4%
奥能登	80.2%	72.1%	68.4%	46.9%	60.5%

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語Aは，国や県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学Aは，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。数学Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。
小松市	国語Aは，国や県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
能美市	国語Aは，国や県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学Aは，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。数学Bは，国の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率をやや下回る。
川北町	国語Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。国語Bは，県の平均正答率を上回る。 数学ABともに，県の平均正答率を上回る。 理科は，県の平均正答率を上回る。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語Aは，国や県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
野々市市	国語Aは，国や県の平均正答率をやや下回る。国語Bは，国の平均正答率をやや下回る。 数学Aは，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。数学Bは，国の平均正答率をやや下回る。 理科は，国の平均正答率と同程度。
金沢市	国語ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語Aは，国や県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。
内灘町	国語ABともに，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。 数学ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率と同程度。
かほく市	国語Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。 数学ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。

【中能登教育事務所管内】

宝達志水町	国語ABともに，県の平均正答率を上回る。 数学Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。数学Bは，県の平均正答率を上回る。 理科は，県の平均正答率を上回る。
志賀町	国語ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。数学Bは，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
羽咋市	国語ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。
中能登町	国語Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。国語Bは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
七尾市	国語Aは，国や県の平均正答率と同程度。国語Bは，国の平均正答率をやや上回り，県の平均正答率と同程度。 数学Aは，国や県の平均正答率と同程度。数学Bは，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率をやや下回る。

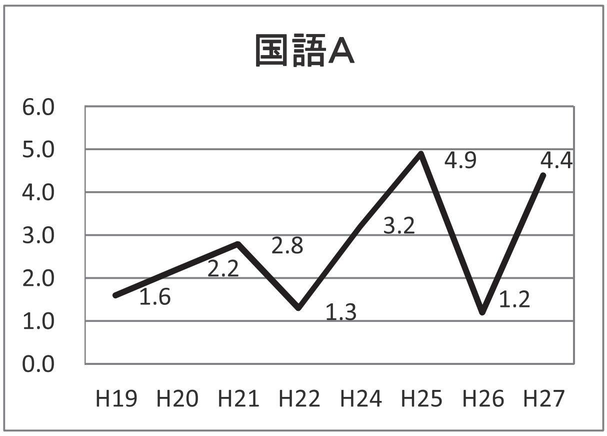
【奥能登教育事務所管内】

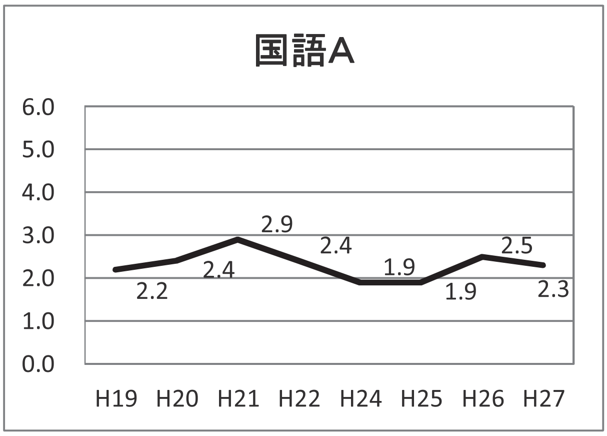
能登町	国語Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。国語Bは，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。数学Bは，県の平均正答率を上回る。 理科は，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。
穴水町	国語ABともに，県の平均正答率を上回る。 数学Aは，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。数学Bは，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。 理科は，国の平均正答率を上回るが，県の平均正答率と同程度。
輪島市	国語ABともに，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。 数学ABともに，国の平均正答率と同程度だが，県の平均正答率をやや下回る。 理科は，国の平均正答率をやや上回るが，県の平均正答率と同程度。
珠洲市	国語Aは，国や県の平均正答率をやや上回る。国語Bは，県の平均正答率を上回る。 数学Aは，国の平均正答率を上回り，県の平均正答率をやや上回る。数学Bは，県の平均正答率を上回る。 理科は，県の平均正答率を上回る。

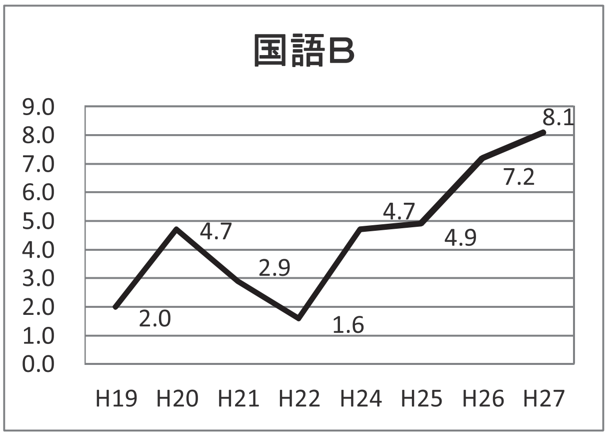
※表記の仕方：国や県の平均正答率との差が，±5%以上（以下）は上回る（下回る），±2%以上（以下）～±5%未満はやや上回る（やや下回る），±2%未満は同程度。

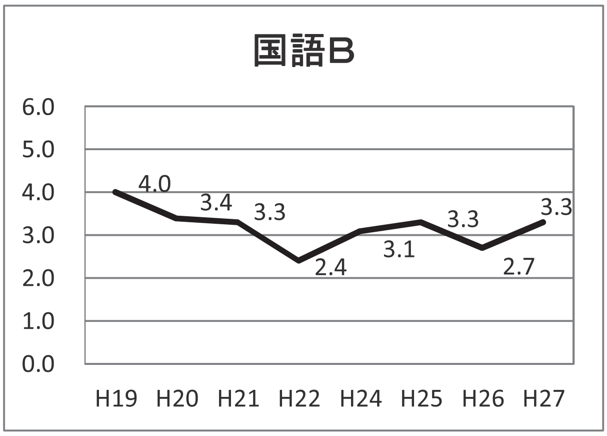
（4）平均正答率の全国との差の変動(国語、算数、数学）

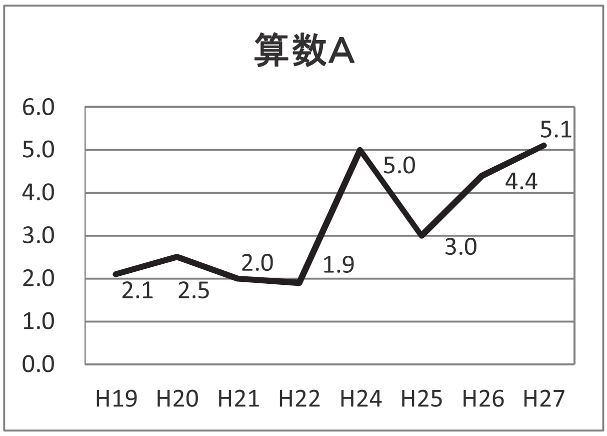
小学校　　　中学校

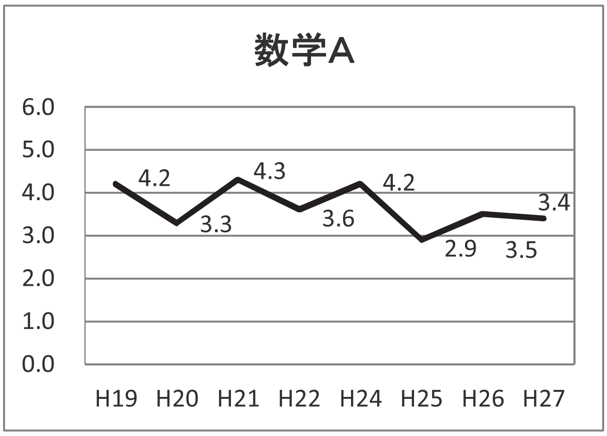


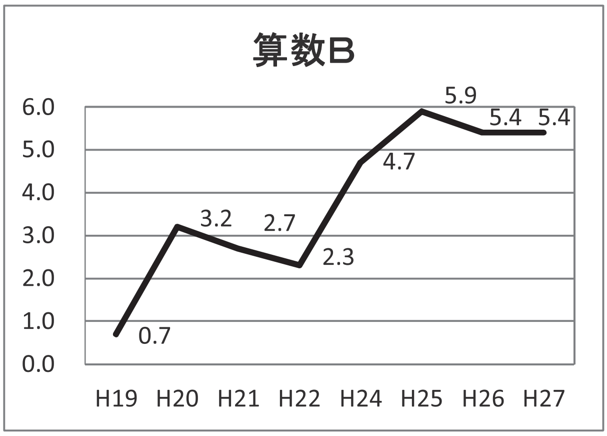


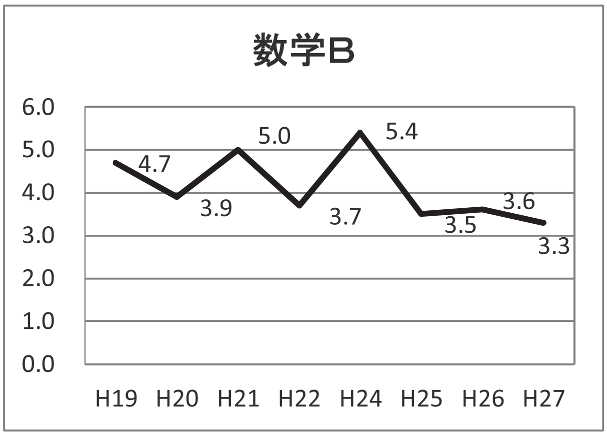












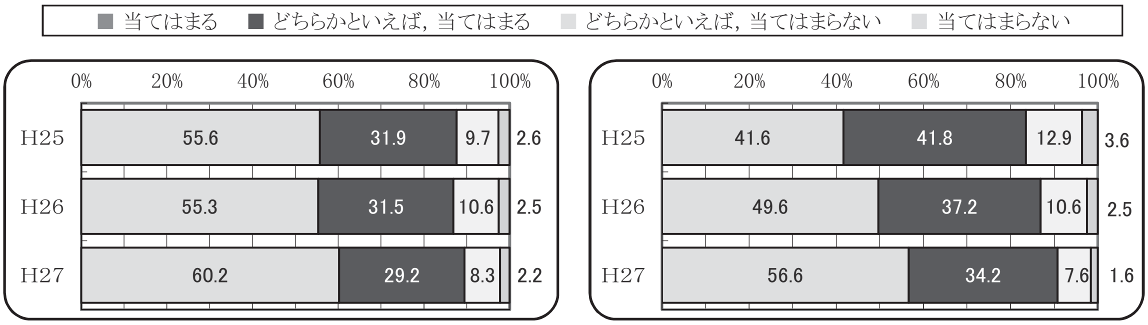
（横軸：年度　縦軸：%）

2 質問紙調査の結果

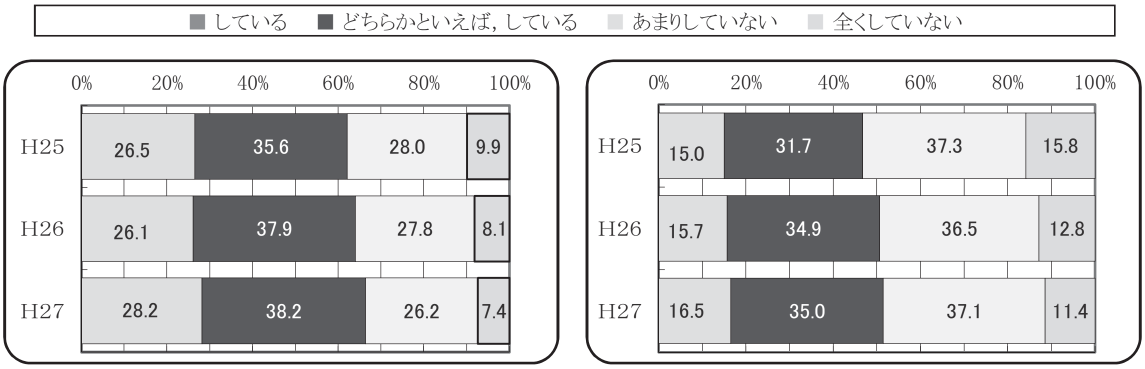
（1） 児童生徒質問紙調査

【小学校】　　　　　　　　　　　　　　　　　　【中学校】

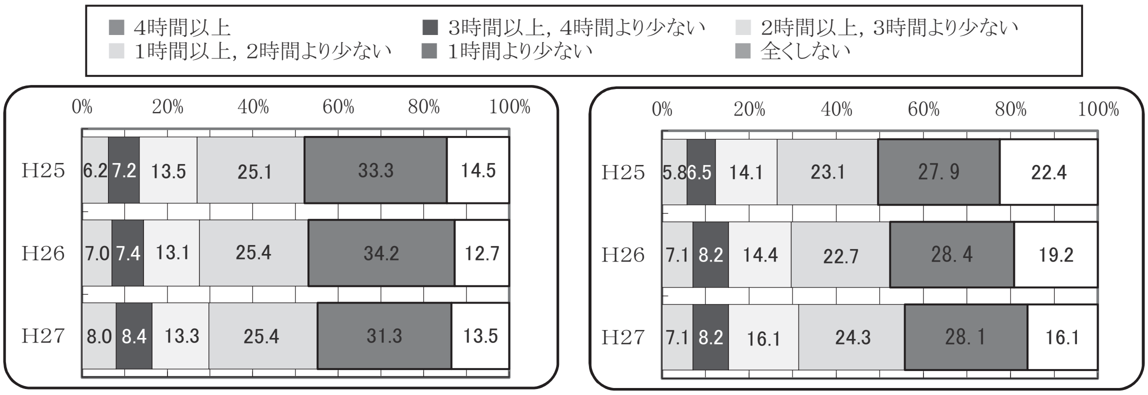
◇ 普段の授業では，授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。



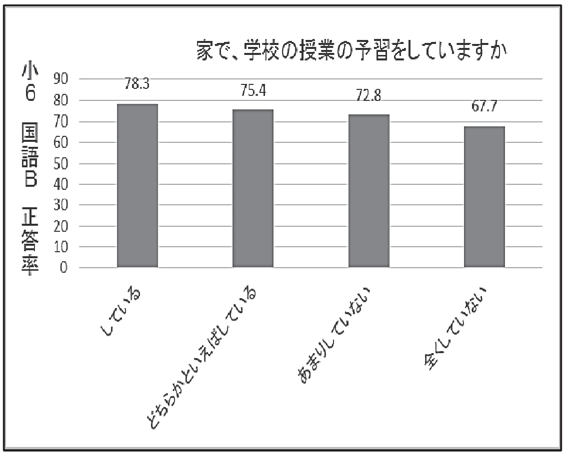
◇ 家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか。

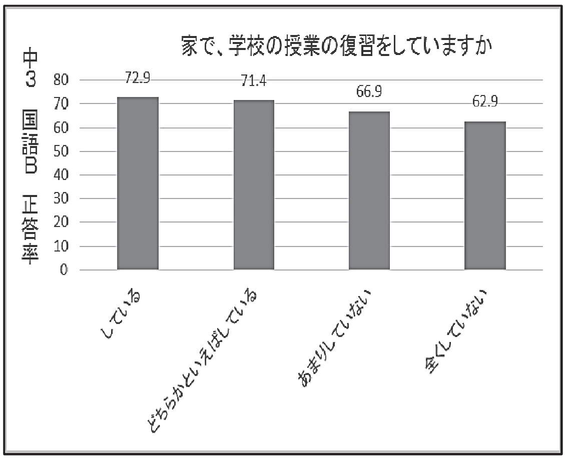


◇ 普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



◇家庭学習と学力の関係について





＜表記について＞
△：全国より2ポイント以上高い　　↑：前年度より2ポイント以上高い
▼：全国より2ポイント以上低い　　※：未実施
▽：全国より2ポイント以低い（良好な傾向）
▲：全国より2ポイント以高い（良好でない傾向）

① 国語科に関すること

項　目		小学校第６学年			中学校第３学年		
		本県（%）	全国（%）	比較	本県（%）	全国（%）	比較
国語の勉強は好きだ	H27	↑ 56.6	61.1	▼	↑ 59.3	↑ 60.5	
	H26	53.1	59.2	▼	56.7	58.2	
	H25	54.1	57.9	▼	56.6	57.7	
国語の授業の内容はよく分かる	H27	↑ 83.7	82.0		↑ 77.8	↑ 74.3	△
	H26	80.9	80.1		75.4	72.0	△
	H25	82.5	79.9	△	73.7	71.9	
国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしている	H27	↑ 70.0	↑ 65.2	△	63.7	↑ 59.2	△
	H26	66.1	↑ 61.4	△	↑ 63.7	↑ 56.1	△
	H25	65.7	59.4	△	58.2	52.2	△
国語の授業で自分の考えを書くとき，考えの理由が分かるように気を付けて書いている	H27	↑ 73.6	↑ 72.7		↑ 65.5	↑ 65.7	
	H26	71.6	70.7		62.4	60.3	△
	H25	70.5	68.9		61.3	60.4	
読書は好きだ	H27	75.6	72.8	△	66.9	67.9	
	H26	75.0	73.0	△	68.3	69.4	
	H25	75.2	72.1	△	69.2	70.1	
解答を文章で書く問題について，最後まで解答を書こうと努力した	H27	↑ 84.6	77.7	△	↑ 79.1	↑ 76.4	△
	H26	↑ 81.5	↑ 76.1	△	73.6	70.4	△
	H25	76.3	69.8	△	73.7	73.0	

② 算数・数学科に関すること

項　目		小学校第６学年			中学校第３学年		
		本県（%）	全国（%）	比較	本県（%）	全国（%）	比較
算数・数学の勉強は好きだ	H27	71.5	66.6	△	57.1	56.0	
	H26	70.6	66.1	△	57.3	56.6	
	H25	71.4	66.2	△	56.9	55.5	
算数・数学の授業の内容はよく分かる	H27	85.9	81.0	△	74.8	71.6	△
	H26	84.4	79.6	△	73.0	71.5	
	H25	85.3	80.2	△	72.7	70.5	△
算数・数学の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考える	H27	82.4	79.6	△	70.3	69.8	
	H26	80.7	78.1	△	↑ 70.3	↑ 70.3	
	H25	79.5	77.4	△	67.7	67.3	
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	H27	68.7	67.7		42.2	40.9	
	H26	67.9	66.3		↑ 42.8	↑ 40.9	
	H25	67.7	66.2		40.3	37.7	△
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている	H27	86.8	83.8	△	84.1	80.6	△
	H26	86.2	83.4	△	82.5	80.0	△
	H25	85.6	82.5	△	82.8	79.8	△
言葉や数，式を使って，わけや求め方を書く（説明する）問題について，最後まで解答を書こうと努力した	H27	80.8	73.3	△	57.4	51.3	△
	H26	↑ 86.1	↑ 79.7	△	↑ 61.8	↑ 57.7	△
	H25	81.3	74.4	△	47.8	44.9	△

③ 理科に関すること

項　目		小学校第６学年			中学校第３学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
理科の勉強は好きだ	H27	82.3	↑ 83.5		↑ 65.7	61.9	△
	H24	81.3	81.5		61.5	61.6	
理科の授業の内容はよく分かる	H27	88.4	87.9		↑ 72.2	↑ 66.8	△
	H24	88.4	86.0	△	67.2	64.1	△
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	H27	↑ 69.5	↑ 69.3		↑ 47.9	↑ 46.9	
	H24	61.5	61.9		37.9	38.4	
理科の授業で，自分の考え(考察)をまわりの人に説明したり発表したりしている	H27	↑ 60.6	↑ 54.9	△	↑ 38.8	↑ 38.4	
	H24	52.8	46.7	△	28.4	27.4	
理科の授業で，観察や実験の結果から，どのようなことが分かったのか考えている(結果をもとに考察している)	H27	↑ 81.2	↑ 80.4		↑ 69.6	↑ 67.2	△
	H24	78.4	77.1		59.9	56.5	△
理科の授業で，観察や実験の進め方や考え方が間違っていないか振り返って考えている	H27	67.6	67.1		↑ 56.9	↑ 55.0	
	H24	67.6	65.2	△	51.5	49.8	
解答を文章で書く問題について，最後まで解答を書こうと努力した	H27	↑ 83.2	↑ 76.1	△	↑ 59.2	↑ 51.8	△
	H24	80.6	72.5	△	53.0	46.6	△

④ 学習活動に関すること

項　目		小学校第６学年			中学校第３学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う	H27	70.7	↑ 65.8	△	↑ 70.7	↑ 58.0	△
	H26	↑ 67.3	↑ 63.8	△	↑ 68.7	↑ 54.8	△
	H25	64.2	60.1	△	64.3	51.1	△
普段の授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていると思う	H27	↑ 91.0	↑ 86.7	△	↑ 87.4	↑ 85.9	
	H26	88.2	↑ 83.7	△	↑ 83.1	↑ 81.1	△
	H25	86.8	81.5	△	80.8	78.2	△
普段の授業では，学級の友達との(生徒の)間で話し合う活動をよく行っていると思う	H27	88.4	85.2	△	↑ 81.5	↑ 78.2	△
	H26	↑ 86.5	↑ 84.9		↑ 78.3	↑ 75.3	△
	H25	80.9	79.3		65.6	64.7	
普段の授業では，授業のはじめに，目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う	H27	↑ 89.4	↑ 86.3	△	↑ 90.8	↑ 79.7	△
	H26	86.8	82.0	△	↑ 86.8	↑ 71.5	△
	H25	87.5	82.5	△	83.4	68.1	△
普段の授業では，授業の最後に，学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う	H27	82.4	↑ 75.3	△	↑ 72.3	↑ 59.3	△
	H26	80.6	71.9	△	↑ 65.9	↑ 53.3	△
	H25	84.7	76.7	△	62.1	51.3	△
400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思う	H27	63.5	60.1	▽	65.9	64.4	
	H26	68.0	63.4	▽	67.6	66.8	
	H25	68.5	65.6	▽	69.7	67.7	▽
学級の友達(生徒の)の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている	H27	68.3	66.9		64.6	62.9	
	H26	67.0	65.9		64.5	61.9	△
	H25	※	※		※	※	
普段の授業では，学級やグループの中で自分たちで課題を立てて，その解決に向けて情報を集め，話し合いながら整理して，発表するなどの学習活動に取り組んでいる	H27	77.9	74.2	△	70.1	65.7	△
	H26	※	※		※	※	
	H25	※	※		※	※	

⑤ 学習習慣に関すること

項目		小学校第６学年			中学校第３学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
家で，自分で計画を立てて勉強をしている	H27	↑ 66.4	62.8	△	51.5	↑ 48.8	△
	H26	64.0	↑ 61.0	△	↑ 50.6	↑ 46.6	△
	H25	62.1	58.9	△	46.7	44.5	△
家で，学校の宿題をしている	H27	96.8	96.8		92.9	89.3	△
	H26	96.6	96.5		91.1	88.2	△
	H25	96.3	96.4		90.6	86.8	△
家で，学校の授業の復習をしている	H27	63.3	54.5	△	↑ 56.1	52.0	△
	H26	↑ 64.2	↑ 54.0	△	↑ 53.5	50.4	△
	H25	61.0	51.4	△	48.7	48.6	
学校の授業時間以外に，普段(月～金曜日)，1日当たり1時間以上，勉強をしている	H27	72.8	62.7	△	65.5	69.0	▼
	H26	71.2	62.0	△	64.5	67.9	▼
	H25	72.1	63.2	△	63.8	68.6	▼
土曜日や日曜日など学校が休みの日に，1日当たり2時間以上，勉強をしている	H27	22.6	24.5		43.2	41.7	
	H26	21.9	24.0	▼	42.0	40.3	
	H25	23.4	25.2		42.6	40.6	△
本を読んだり，借りたりするために，学校図書館や地域の図書館に週1回以上行っている	H27	29.5	17.6	△	↑ 15.0	8.2	△
	H26	32.7	18.7	△	12.8	8.0	△
	H25	35.7	20.5	△	15.1	9.2	△
家や図書館で，普段（月～金曜日），1日当たり30分以上，読書をしている	H27	35.6	37.7	▼	26.6	30.6	▼
	H26	38.2	38.2		26.6	31.4	▼
	H25	38.4	36.6		25.7	29.5	▼

⑥ 生活習慣に関すること

項目		小学校第６学年			中学校第３学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
朝食を毎日食べている	H27	96.5	95.6		96.0	93.5	△
	H26	96.8	96.0		95.7	93.5	△
	H25	97.1	96.3		95.8	93.8	△
家の人（兄弟姉妹除く）と学校での出来事について話をしている	H27	77.2	79.5	▼	75.7	73.7	△
	H26	↑ 78.5	↑ 80.4		↑ 74.3	↑ 72.6	
	H25	74.3	76.5	▼	68.2	66.6	
普段(月～金曜日)，1日当たり1時間以上，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしている	H27	↑ 16.0	16.9		39.0	47.6	▽
	H26	13.5	15.1		37.6	47.7	▽
	H25	*	*		*	*	
普段(月～金曜日)，1日当たり2時間以上，テレビやビデオ・DVDを見たり，聞いたりしている	H27	61.5	59.2	▲	52.1	55.7	▽
	H26	62.0	61.3		51.9	56.5	▽
	H25	65.2	62.5	▲	51.5	55.5	▽
普段(月～金曜日)，1日当たり2時間以上，テレビゲームをしている	H27	↑ 29.7	30.2		31.4	36.3	▽
	H26	27.5	↑ 30.3	▽	↑ 29.7	↑ 35.4	▽
	H25	26.9	28.2		26.4	27.5	
新聞を週に1回以上読んでいる ※H25は質問紙Ⅱのみ	H27	28.7	23.7	△	21.1	18.8	△
	H26	32.3	27.1	△	22.7	21.1	
	H25	35.8	31.7	△	27.6	25.3	△

⑦ 自尊意識・規範意識等に関すること

項目		小学校第６学年			中学校第３学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがある	H27	95.3	94.5		95.6	94.2	
	H26	94.8	94.4		95.3	93.9	
	H25	95.0	94.3		94.9	93.7	
将来の夢や目標を持っている	H27	84.7	86.5		71.1	71.7	
	H26	85.2	86.7		71.2	71.4	
	H25	86.1	87.7		73.2	73.5	
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う	H27	94.3	93.9		95.5	94.9	
	H26	94.4	94.4		95.9	95.3	
	H25	92.5	93.0		95.1	94.2	
人の役に立つ人間になりたいと思う	H27	94.1	93.7		95.2	93.7	
	H26	94.1	94.0		94.8	94.0	
	H25	94.0	93.6		94.2	93.3	
学校のきまり（規則）を守っている	H27	91.6	91.1		94.1	94.4	
	H26	91.7	90.5		92.9	93.0	
	H25	91.2	90.6		92.4	92.5	

⑧ 社会に関すること

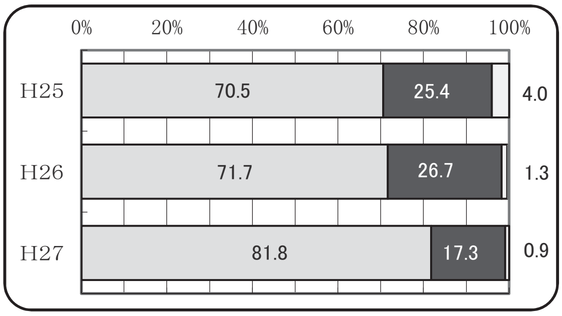
項目		小学校第６学年			中学校第３学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
今住んでいる地域の行事に参加している	H27	80.5	66.9	△	52.2	44.8	△
	H26	↑ 81.0	↑ 68.0	△	↑ 51.1	43.5	△
	H25	78.0	63.9	△	48.2	41.6	△
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	H27	64.8	63.9		57.1	55.9	
	H26	↑ 63.4	↑ 62.9		↑ 57.5	↑ 55.6	
	H25	57.6	57.4		53.4	51.8	

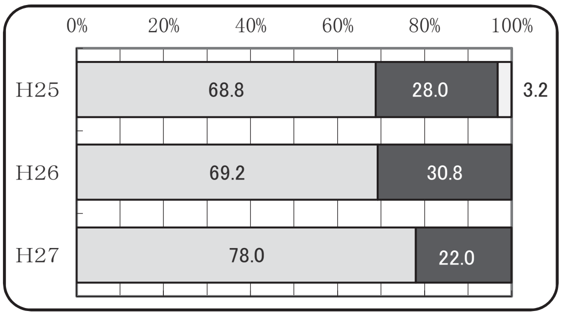
（2） 学校質問紙調査

【小学校】　　　　　　　　　　　　　　　　　【中学校】

◇ 普段の授業では，授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れていますか。

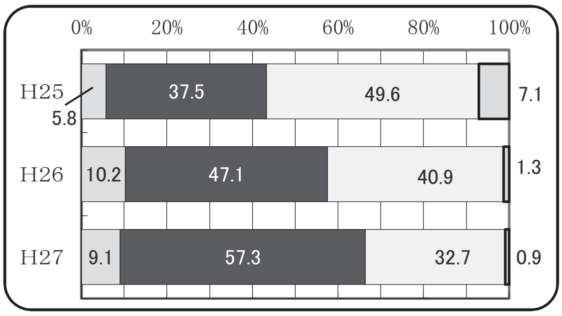
■ よく行った　■ どちらかといえば，行った　■ あまり行っていない　■ 全く行っていない

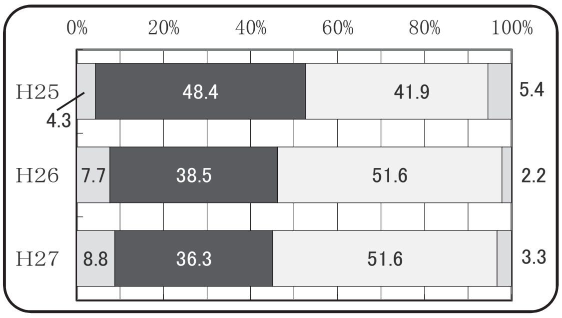




◇ 調査対象学年の児童に対して，前年度までに，コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む），電子黒板，実物投影機，プロジェクター，インターネットなどを指す）を活用して，子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか。

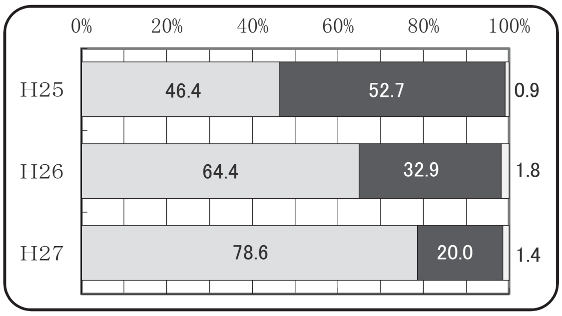
■ よく行った　■ どちらかといえば，行った　■ あまり行っていない　■ 全く行っていない

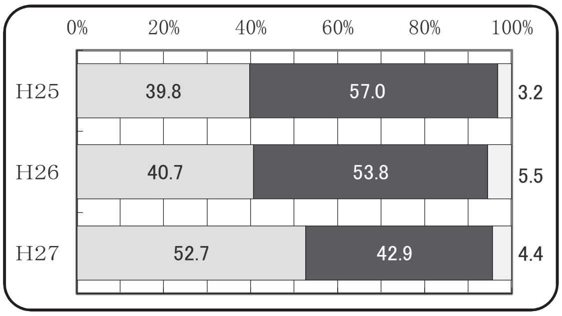




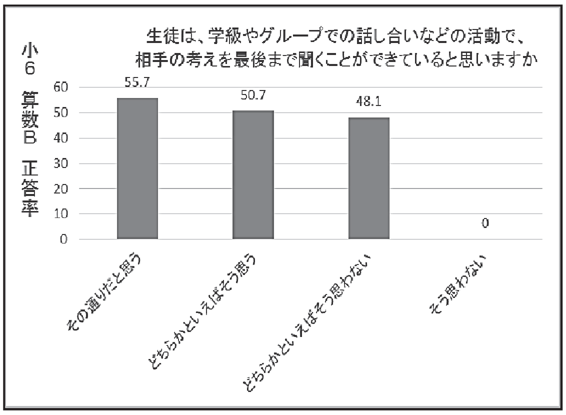
◇ 自校の分析結果を，調査対象学年・教科だけではなく，学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。

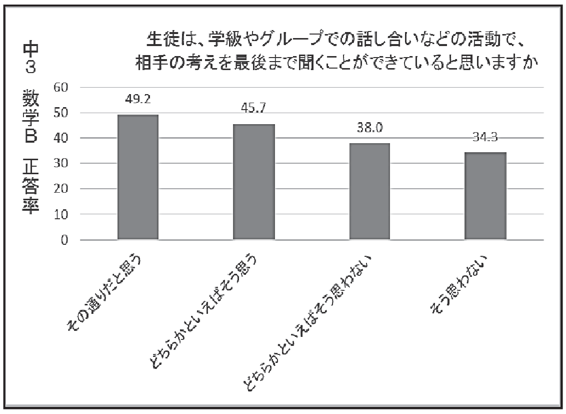
■ よく行った　■ 行っている　■ ほとんど行っていない





◇ 学校での指導と学力の関係について





＜表記について＞
△：全国より2ポイント以上高い　　↑：前年度より2ポイント以上高い
▼：全国より2ポイント以上低い　　※：未実施

① 学力向上に向けた取組に関すること

項　目		小学校 本県(%)	小学校 全国(%)	小学校 比較	中学校 本県(%)	中学校 全国(%)	中学校 比較
「朝の読書」などの一斉読書の時間を週に1回以上設けた	H27	96.4	91.1	△	↑ 91.2	82.6	△
	H26	96.9	90.8	△	87.9	82.1	△
	H25	96.9	90.6	△	89.3	81.8	△
放課後を利用した補充的な学習サポートを週に1回以上実施した	H27	48.2	30.5	△	17.6	23.5	▼
	H26	47.1	30.6	△	20.9	22.4	
	H25	46.8	29.5	△	22.6	22.7	
長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施した	H27	85.0	62.8	△	81.4	79.8	
	H26	↑ 96.4	65.9	△	94.6	84.3	△
	H25	91.1	65.0	△	95.7	84.1	△

② 国語科の指導方法に関すること

項　目		小学校 本県(%)	小学校 全国(%)	小学校 比較	中学校 本県(%)	中学校 全国(%)	中学校 比較
国語の指導として，発展的な学習の指導を行った	H27	↑ 54.1	↑ 44.6	△	↑ 69.2	↑ 60.8	△
	H26	↑ 48.0	↑ 40.7	△	63.7	↑ 56.0	△
	H25	46.0	37.6	△	67.8	53.7	△
国語の指導として，書く習慣を付ける授業を行った	H27	↑ 96.9	91.9	△	94.6	94.5	
	H26	92.0	90.6		↑ 98.9	93.6	△
	H25	95.6	89.9	△	96.7	92.2	△
国語の指導として，漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った	H27	98.2	97.9		98.9	98.2	
	H26	96.9	97.8		100.0	98.3	
	H25	95.5	97.7	▼	98.9	97.8	

③ 算数・数学科の指導方法に関すること

項　目		小学校 本県(%)	小学校 全国(%)	小学校 比較	中学校 本県(%)	中学校 全国(%)	中学校 比較
算数・数学の指導として，発展的な学習の指導を行った	H27	70.9	↑ 61.6	△	↑ 76.9	↑ 65.4	△
	H26	↑ 69.8	↑ 58.3	△	67.0	↑ 61.3	△
	H25	66.5	54.4	△	68.9	58.3	△
算数・数学の指導として，実生活における事象との関連を図った授業を行った	H27	70.9	↑ 69.3		↑ 68.1	↑ 63.4	△
	H26	↑ 70.6	↑ 66.2	△	55.0	↑ 60.8	▼
	H25	66.9	63.0	△	61.3	57.2	△
算数・数学の指導として，計算問題などの反復練習をする授業を行った	H27	98.7	97.4		95.6	96.3	
	H26	97.4	97.4		95.6	95.8	
	H25	96.9	97.1		96.8	95.6	

④ 理科の指導方法に関すること

項　目		小学校 本県(%)	小学校 全国(%)	小学校 比較	中学校 本県(%)	中学校 全国(%)	中学校 比較
理科の指導として，発展的な学習の指導を行った	H27	↑ 53.7	↑ 47.2	△	↑ 74.7	↑ 62.5	△
	H24	48.2	42.2	△	63.8	56.7	△
理科の指導として，自ら考えた仮説をもとに観察，実験の計画を立てる指導を行った	H27	80.4	↑ 81.6		68.1	↑ 65.8	△
	H24	80.6	78.1	△	72.5	61.8	△
理科の指導として，観察や実験の結果を整理し考察する（分析し解釈する）指導を行った	H27	↑ 96.8	↑ 93.8	△	95.6	↑ 91.3	△
	H24	91.4	91.2		94.8	88.9	△

⑤ 指導方法・学習規律に関すること

項目		小学校 本県(%)	小学校 全国(%)	小学校 比較	中学校 本県(%)	中学校 全国(%)	中学校 比較
児童生徒の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をした	H27	↑ 96.4	94.3	△	94.5	92.1	△
	H26	93.3	93.9		↑ 96.7	91.1	△
	H25	94.7	95.0		94.6	91.8	△
児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めた	H27	97.2	97.3		↑ 96.7	94.3	△
	H26	97.8	96.9		93.4	93.3	
	H25	96.0	97.3		96.7	93.3	△
児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした	H27	61.4	72.4	▼	↑ 92.3	↑ 96.4	▼
	H26	↑ 62.2	72.0	▼	89.0	94.2	▼
	H25	56.7	71.5	▼	96.8	94.5	△
学習規律(私語をしない，聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底した	H27	96.8	96.2		94.5	97.4	▼
	H26	98.3	96.2	△	97.8	96.6	
	H25	97.8	97.1		97.9	97.7	
児童生徒に対して，学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた	H27	88.6	87.5		81.3	82.7	
	H26	91.5	91.0		83.5	82.7	
	H25	91.0	91.3		87.1	81.1	△
児童生徒に対して，本やインターネットなどの資料の調べ方が身に付くよう指導した	H27	91.4	90.8		76.9	78.0	
	H26	↑ 92.0	91.0		↑ 79.1	78.2	
	H25	89.7	91.3		74.2	76.3	▼
児童生徒に対して，資料を使って発表ができるよう指導した	H27	84.1	85.9		78.0	78.1	
	H26	85.8	85.8		↑ 82.4	78.1	△
	H25	87.9	86.2		76.3	76.8	
児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をした	H27	94.5	91.9	△	↑ 92.3	87.8	△
	H26	95.2	90.6	△	90.1	86.5	△
	H25	93.7	90.9	△	97.9	85.7	△
普段の授業では，授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れたと思う	H27	99.1	98.1		100.0	95.7	△
	H26	97.8	96.9		↑ 100.0	94.0	△
	H25	95.9	96.5		96.8	92.6	△
普段の授業では，授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたと思う	H27	97.3	↑ 93.9	△	93.5	90.9	△
	H26	97.8	91.6	△	↑ 95.6	89.2	△
	H25	98.2	92.0	△	92.5	88.1	△
授業において，児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を取り入れたと思う	H27	71.4	73.0		55.0	63.3	▼
	H26	※	※		※	※	
	H25	※	※		※	※	

⑥ コンピュータなどを活用した教育に関すること

項目		小学校 本県(%)	小学校 全国(%)	小学校 比較	中学校 本県(%)	中学校 全国(%)	中学校 比較
普段の授業では，コンピュータ等の情報通信技術を活用して，子供同士が教え合い学び合う学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行った	H27	↑ 66.4	↑ 66.1		45.1	↑ 53.3	▼
	H26	↑ 57.3	↑ 64.1	▼	46.2	↑ 51.2	▼
	H25	43.3	46.6	▼	52.7	44.9	△
国語の授業において，コンピュータ等の情報通信技術等を活用した授業を月1回以上行った	H27	24.1	37.5	▼	25.3	16.4	△
	H26	※	※		※	※	
	H25	※	※		※	※	
算数・数学の授業において，コンピュータ等の情報通信技術等を活用した授業を月1回以上行った	H27	34.5	46.0	▼	26.4	27.8	
	H26	※	※		※	※	
	H25	※	※		※	※	
理科の授業において，コンピュータ等の情報通信技術等を活用した授業を月1回以上行った	H27	63.6	61.5	△	77.0	53.9	△
	H26	※	※		※	※	
	H25	※	※		※	※	

⑦ 家庭学習に関すること

項　目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った（国語・算数・数学）	H27	98.2	96.5		83.6	83.9	
	H26	97.8	95.9		89.0	85.4	△
	H25	※	※		※	※	
国語の指導として，家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について，評価・指導した	H27	98.6	98.3		93.4	93.7	
	H26	99.1	97.8		93.5	93.8	
	H25	98.2	96.8		97.8	95.9	
算数・数学の指導として，家庭学習の課題(長期休業の課題除く)について，評価・指導した	H27	98.6	98.4		90.2	93.7	▼
	H26	99.1	98.0		93.5	93.9	
	H25	98.2	97.0		96.8	95.2	

⑧ 地域の人材活用に関すること

項　目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った	H27	78.6	76.3	△	68.2	58.8	△
	H26	76.9	76.3		↑ 76.9	58.5	△
	H25	81.7	79.3	△	66.7	57.6	△
ボランティア等による授業サポート(補助)を行った	H27	27.7	40.6	▼	↑ 23.1	24.2	
	H26	28.0	41.1	▼	20.9	24.2	▼
	H25	29.0	42.4	▼	22.6	22.8	
PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれた	H27	98.7	97.1		98.9	95.1	△
	H26	96.9	96.8		97.8	94.6	△
	H25	97.8	97.1		98.9	94.7	△

⑨ 学校・教員の取組に関すること

項　目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校（中学校）と連携を行っている	H27	↑ 78.6	↑ 66.7	△	↑ 94.5	↑ 75.5	△
	H26	68.9	62.4	△	↑ 84.7	↑ 72.1	△
	H25	79.1	69.2	△	77.4	69.5	△
学校でテーマを決め，講師を招聘するなどの校内研修を行っている	H27	97.3	93.3	△	↑ 90.1	85.8	△
	H26	95.5	92.5	△	87.9	84.8	△
	H25	93.8	92.7		92.4	84.4	△
模擬授業や事例研究など，実践的な研修を行っている	H27	95.4	95.5		90.2	87.5	△
	H26	↑ 95.5	94.9		↑ 91.2	86.7	△
	H25	93.3	94.8		87.1	86.4	
教職員は，校内外の研修や研究会に参加し，その成果を教育活動に積極的に反映させている	H27	97.3	95.8		↑ 93.4	92.3	
	H26	97.7	95.5	△	91.2	90.8	
	H25	98.7	94.8	△	92.5	89.4	△
自校の調査結果を，調査対象学年・教科だけではなく，学校全体で教育活動を改善するために活用した	H27	98.6	↑ 95.8	△	95.6	↑ 93.2	△
	H26	97.3	93.6	△	94.5	90.4	△
	H25	※	※		※	※	
学校全体の言語活動の実施状況や課題について，全教職員の間で話し合ったり，検討したりした	H27	↑ 92.7	88.6	△	↑ 92.3	77.6	△
	H26	90.7	90.3		82.4	75.9	△
	H25	※	※		※	※	
言語活動について，国語科だけではなく，各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動を通じて，学校全体として取り組んだ	H27	92.7	91.6		↑ 91.2	86.5	△
	H26	99.6	98.6		84.7	85.4	
	H25	※	※		※	※	

⑩ 児童生徒に関すること

項　目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
児童生徒は，熱意をもって勉強していると思う	H27	93.6	92.6		↑ 85.7	89.2	▼
	H26	92.9	91.8		83.5	88.2	▼
	H25	92.9	92.4		87.1	88.5	
児童生徒は，授業中の私語が少なく，落ち着いていると思う	H27	88.6	90.2		88.0	93.3	▼
	H26	89.3	89.7		86.9	92.1	▼
	H25	93.8	90.4	△	89.3	92.7	▼
児童生徒は，礼儀正しいと思う	H27	88.2	88.4		↑ 86.8	91.1	▼
	H26	↑ 91.1	87.6	△	84.6	90.0	▼
	H25	88.8	87.9		89.2	89.9	

平成２７年度
全国学力・学習状況調査　－結果の概要－
平成２７年１０月発行
石川県教育委員会事務局学校指導課
〒 920-8575　石川県金沢市鞍月１丁目１番地
℡ 076-225-1827
e-mail：gakusi@pref.ishikawa.lg.jp